

2025年度
在学学生学修成果
アンケート

実施レポート

2025 年 9 月 12 日

担当：教務課

1. アンケート実施について

(1) アンケート実施時期

2025 年 7 月 18 日～8 月 8 日

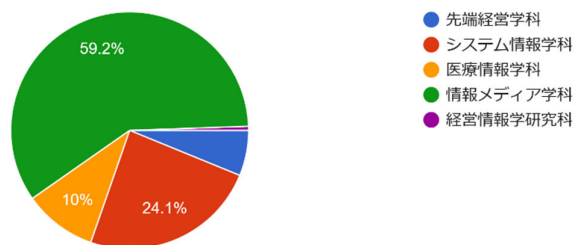
※追加アンケート: 9 月 17 日～19 日

(2) 回答人数

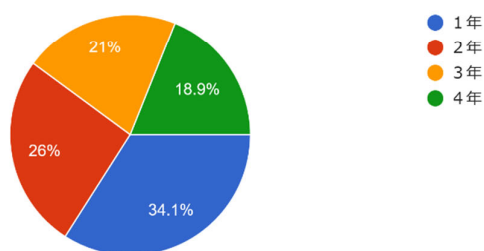
合計 904 名 学部生: 899 名 大学院: 5 名

全学生 1,667 名中 899 名(53.9%) ※昨年 30.4%

所属学科
904 件の回答



学年
904 件の回答



(3) アンケート項目

2025年度は文部科学省主催の「全国学生調査」の設問に合わせた内容に一部変更している。

No.	在学生学修成果アンケート項目	分類	対応DP
1	主体的に学ぶ力(自己管理能力・学びの楽しさを見つける)	学修成果	①
2	将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	//	②
3	情報収集・活用力(文献・資料を収集・分析する力)	//	①+⑤
4	専門分野の知識(専門分野に関する知識・理解)	//	②
5	数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	//	②
6	日本語・数学などの基礎能力	//	②+⑥
7	外国語能力(外国語を使う力)	//	③
8	異なる文化に関する知識・理解	//	③
9	コミュニケーション能力	//	④
10	プレゼンテーション能力(人に分かりやすく話す力)	//	④
11	他者と協働する力	//	④

12	幅広い教養(幅広い知識・ものの見方)	//	④+⑥
13	問題発見能力・課題解決能力 (問題を見つけて解決方法を考える力)	//	⑤
14	論理的思考(論理的に文章を書く力)	//	⑤+⑥
15	地域や社会に貢献する意識	//	⑥
16	授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)	学修時間、行動	
17	卒業論文・卒業研究・卒業制作(4年生のみ)	//	
18	授業外時間の学習時間(予習・復習・課題など授業に関する学習時間(卒業論文等は除く))	//	
19	授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)	//	
20	部活動／サークル活動時間	//	
21	アルバイト／定職	//	
22	卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している	//	
23	授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている	//	
24	教職員が熱心に教育に取り組んでいる	//	
25	大学の学びによって成長を実感している	//	
26	授業を休む理由	//	
27	GPA意識	//	
28	北海道情報大学を母校に進めたいか	//	
29	北海道情報大学に満足しているか	//	
30	大学に入ってから受けた授業:理解がしやすいように教え方が工夫されていたか	その他	
31	大学に入ってから受けた授業: 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されていたか	//	
32	大学に入ってから受けた授業: 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される	//	
33	大学に入ってから受けた授業: グループワークやディスカッションの機会がある	//	
34	大学に入ってから受けた授業: 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある	//	
35	大学に入ってから受けた授業: ティーチングアシストなどによる補助的な指導がある	//	
36	大学在学中どの程度有用だったと感じますか: インターンシップ(5日間以上)	//	
37	大学在学中どの程度有用だったと感じますか: 海外留学・海外研修(短期も含む)	//	
38	大学在学中どの程度有用だったと感じますか: 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)	//	

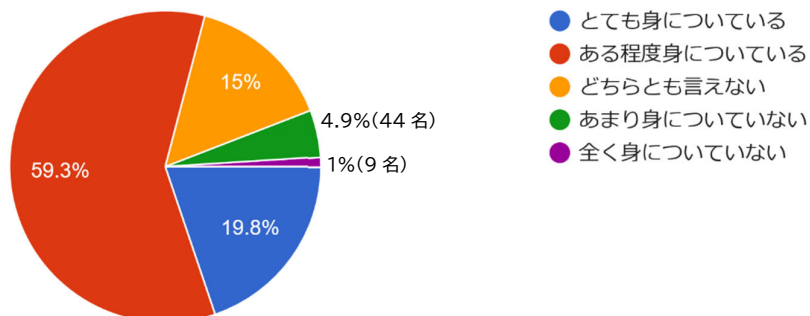
(4)アンケート周知方法

Web ポータル／メールでの周知／ポスター掲示／学生への直接声掛け

2. アンケート回答結果

1. 主体的に学ぶ力(自己管理能力・学びの楽しさを見つける)

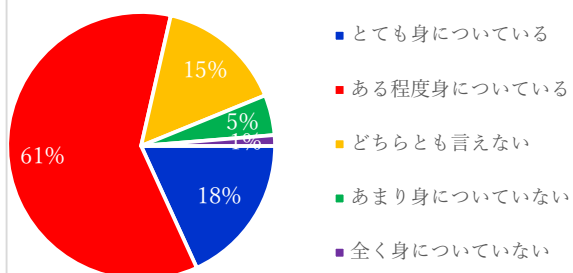
全体



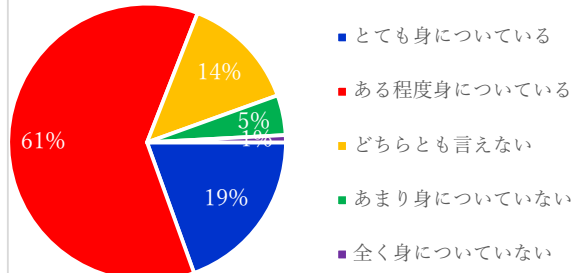
【コメント】

79.1%(昨年度:77.4%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP①『生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力』は身に付いている。

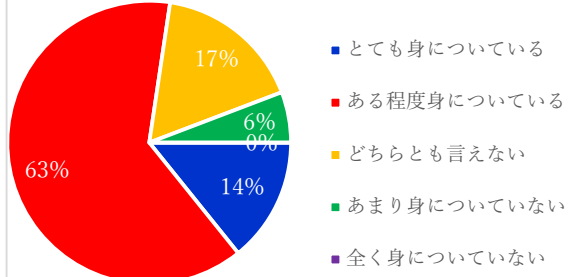
質問1. 全体1年



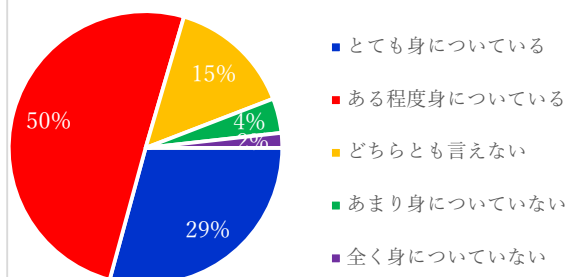
質問1. 全体2年



質問1. 全体3年

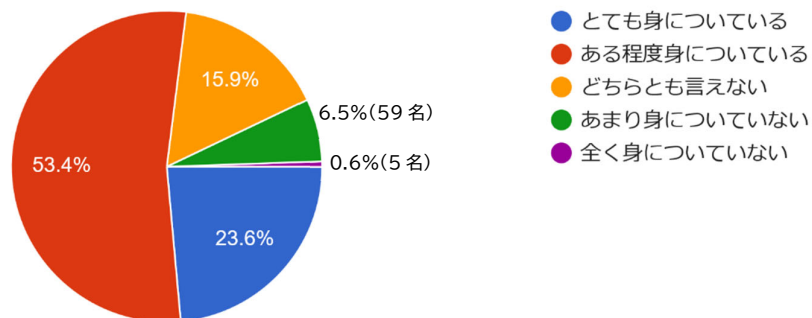


質問1. 全体4年



2. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観

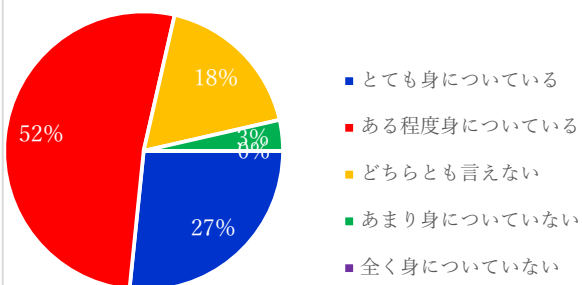
全体



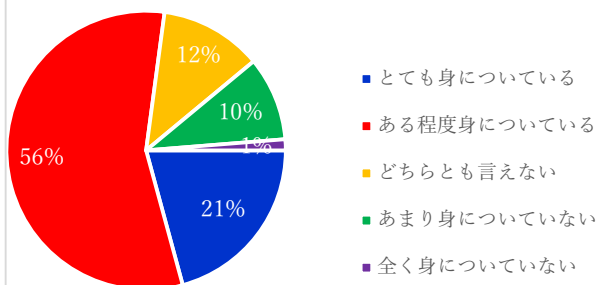
【コメント】

77.0%が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP②『IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識』が身に付いている。

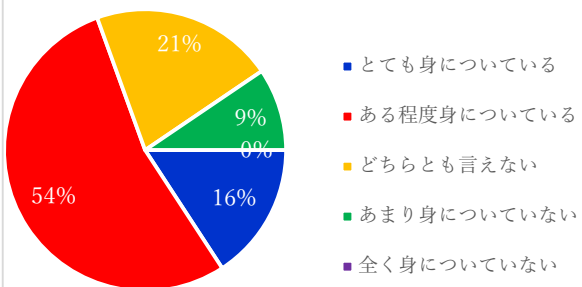
質問 2. 全体 1 年



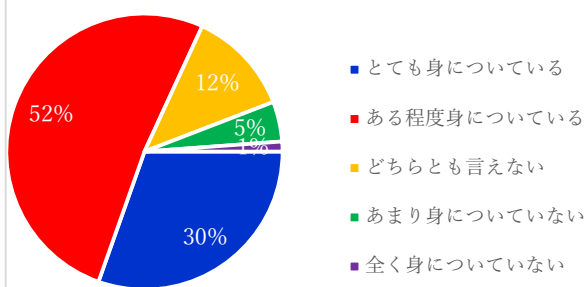
質問 2. 全体 2 年



質問 2. 全体 3 年

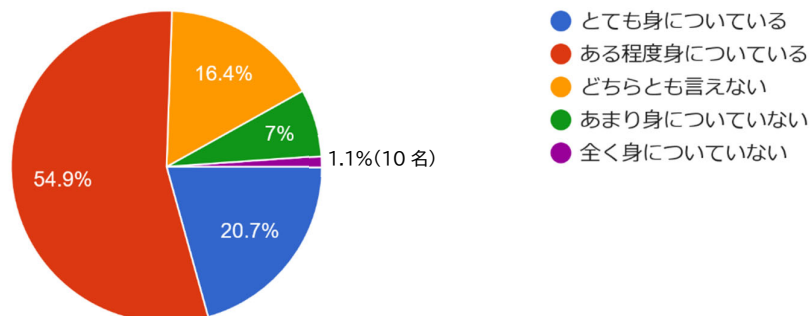


質問 2. 全体 4 年



3. 情報収集・活用力(文献・資料を収集・分析する力)

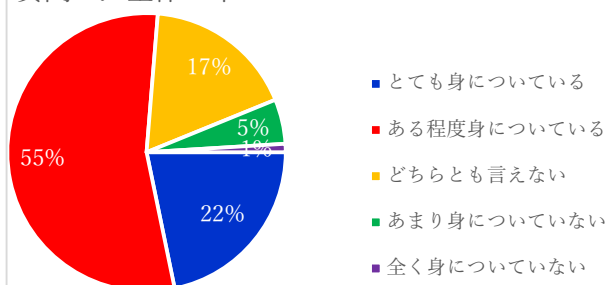
全体



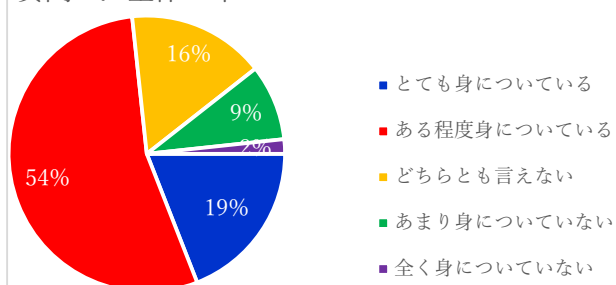
【コメント】

75.6%が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP①『生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力』、DP⑤『自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力』が身に付いている。

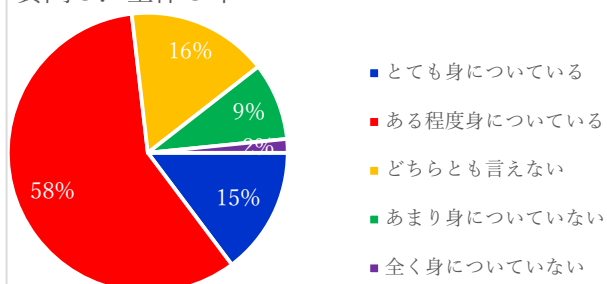
質問3. 全体 1年



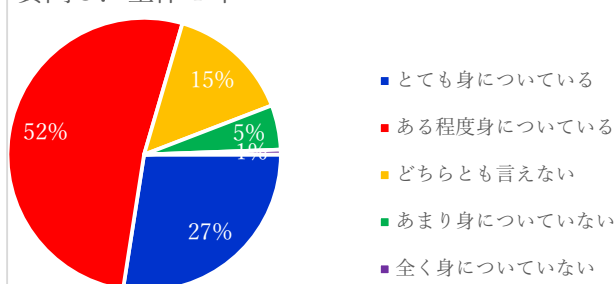
質問3. 全体 2年



質問3. 全体 3年

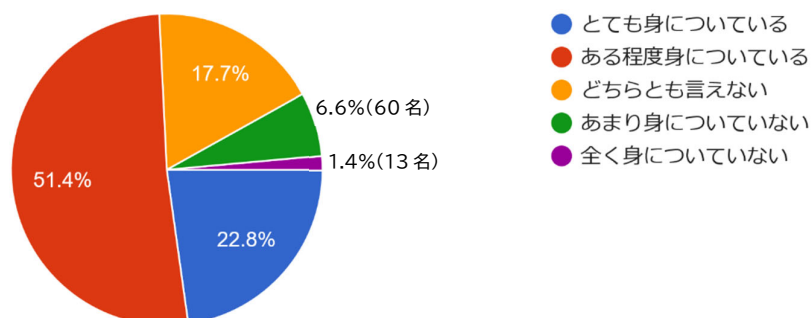


質問3. 全体 4年



4. 専門分野の知識(専門分野に関する知識・理解)

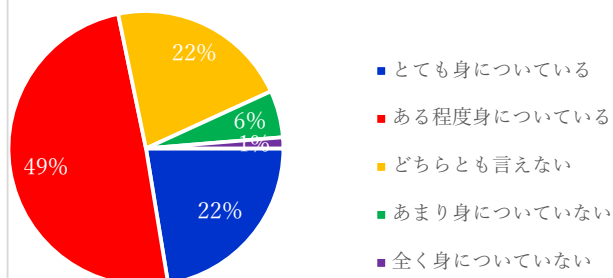
全体



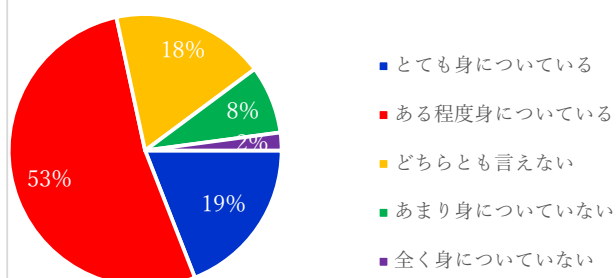
【コメント】

74.2%(昨年度:73.4%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP②『IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識』が身に付いている。

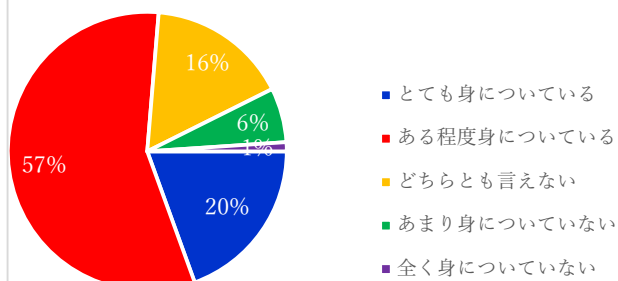
質問 4. 全体 1 年



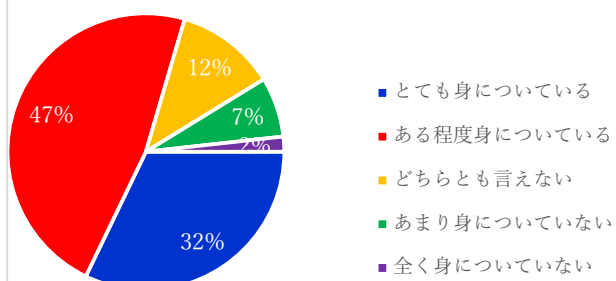
質問 4. 全体 2 年



質問 4. 全体 3 年

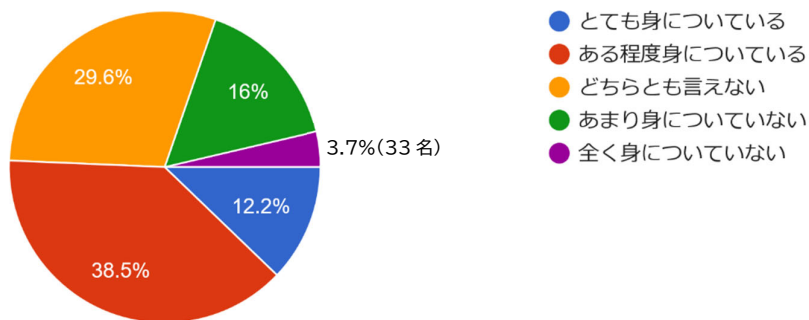


質問 4. 全体 4 年



5. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能

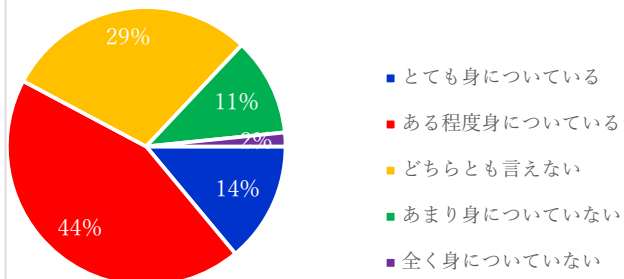
全体



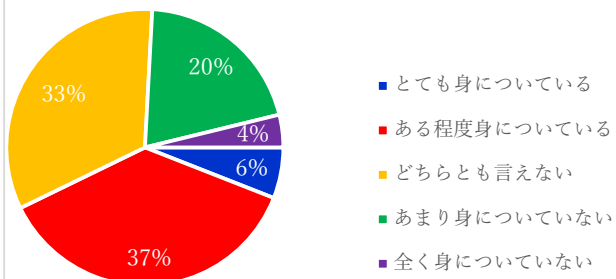
【コメント】

50.7%が「とても・ある程度身についている」と回答している。DP②『IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識』はある程度身に付いていると判断できるが、「どちらとも言えない」が約30%存在しており、身に付いていると自信がつくようにしたい。

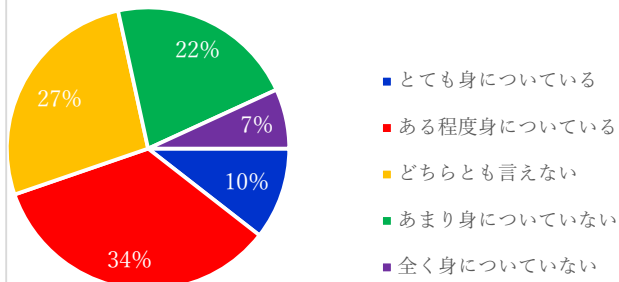
質問 5. 全体 1 年



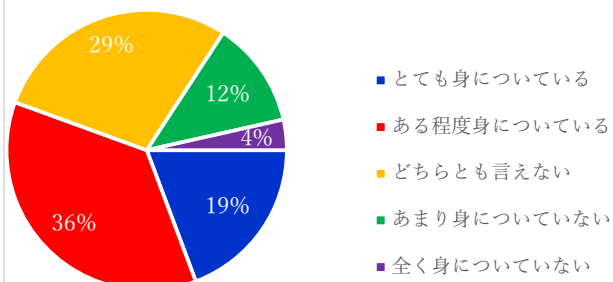
質問 5. 全体 2 年



質問 5. 全体 3 年

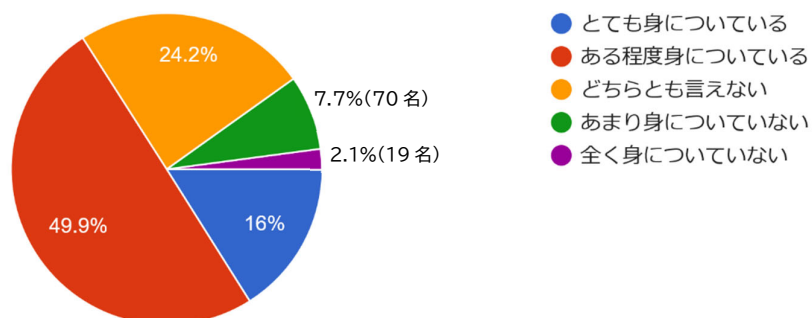


質問 5. 全体 4 年



6. 日本語・数学などの基礎能力

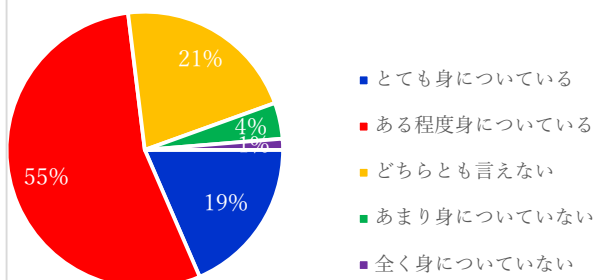
全体



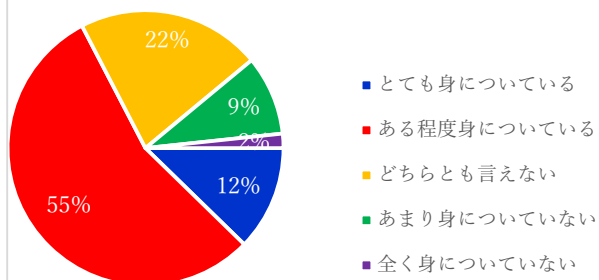
【コメント】

65.9%(昨年度:66.9%)が「とても・ある程度身についてる」と回答している。DP②『IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識』、DP⑥『知識のみではなく生きるための知恵』はある程度身に付いていると判断できるが、「どちらとも言えない」が約 24%存在しており、身に付いていると自信がつくようにしたい。数学要素が原因か。

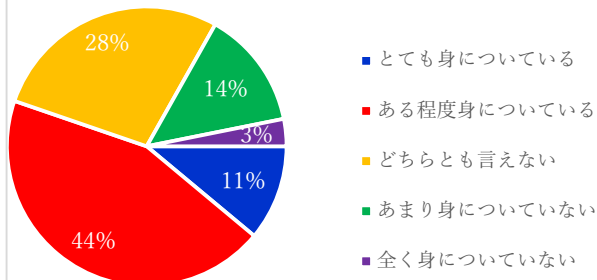
質問 6. 全体 1 年



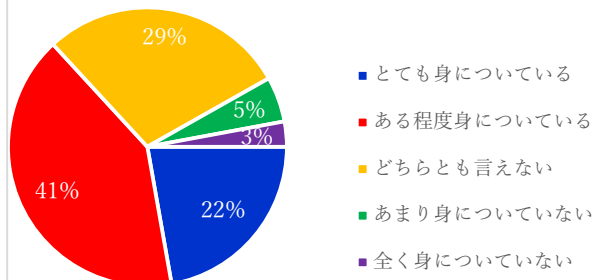
質問 6. 全体 2 年



質問 6. 全体 3 年

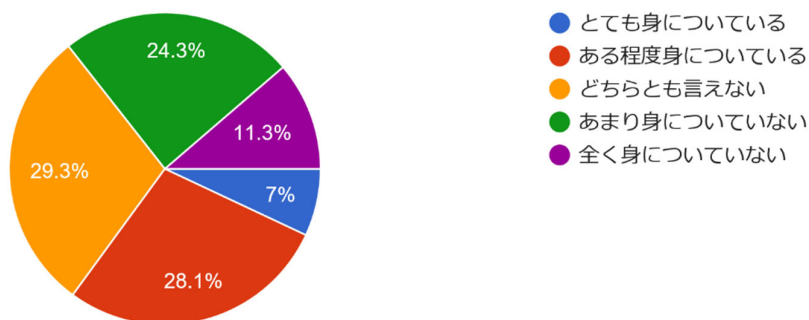


質問 6. 全体 4 年



7. 外国語能力(外国語を使う力)

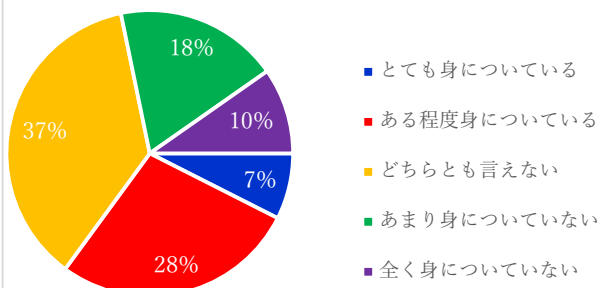
全体



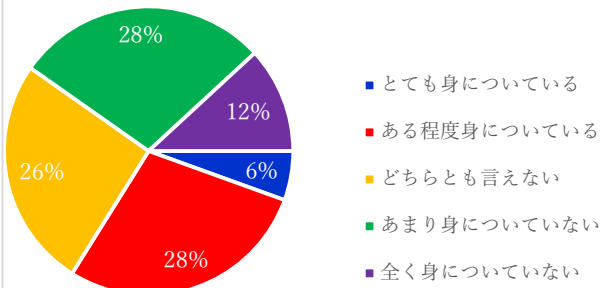
【コメント】

35.1%(昨年度:33.4%)が「とても・ある程度身についてる」と回答している。全体的に昨年度から大きな変化は無い。DP③『国際感覚やモラルなど豊かな人間性』については、継続して改善努力が必要。なお、2026年度より英語系科目が見直しされる。

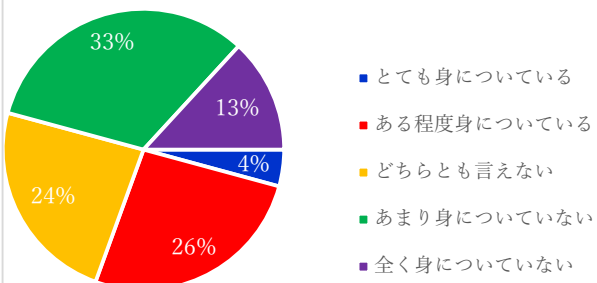
質問 7. 全体 1 年



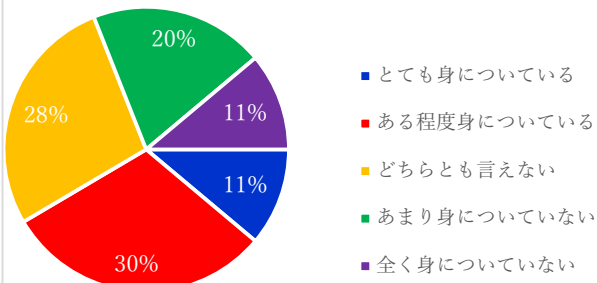
質問 7. 全体 2 年



質問 7. 全体 3 年

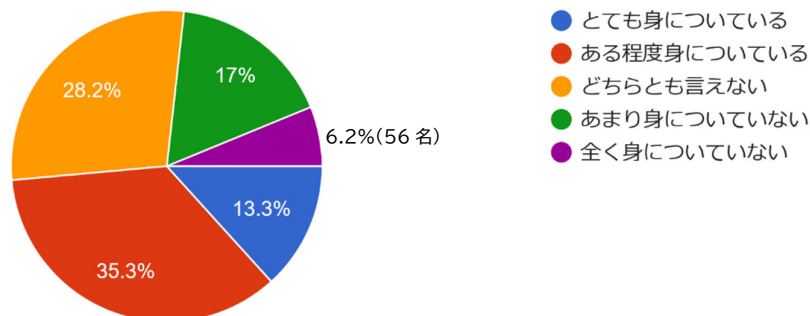


質問 7. 全体 4 年



8. 異なる文化に関する知識・理解

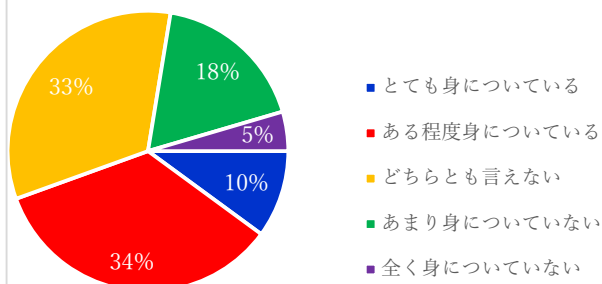
全体



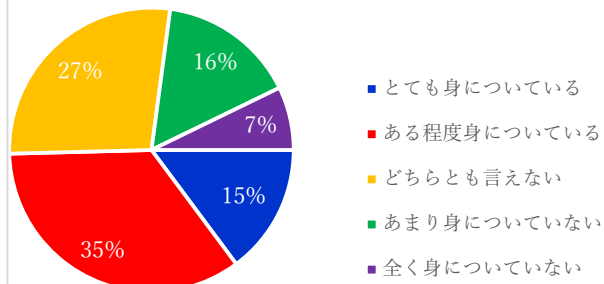
【コメント】

48.6%が「ある程度・とても身についている」と回答している。DP③『国際感覚やモラルなど豊かな人間性』については、継続して改善努力が必要。国際情報プログラムへの参加を促す取組みを促すことで改善に繋げる。

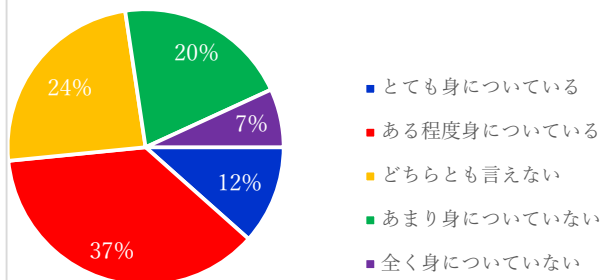
質問 8. 全体 1 年



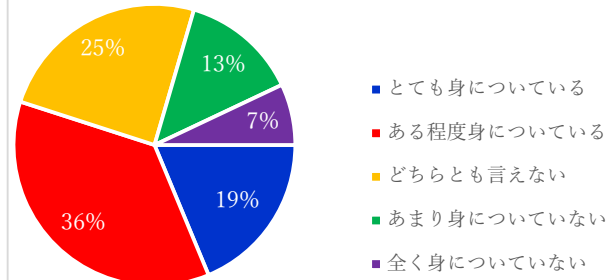
質問 8. 全体 2 年



質問 8. 全体 3 年

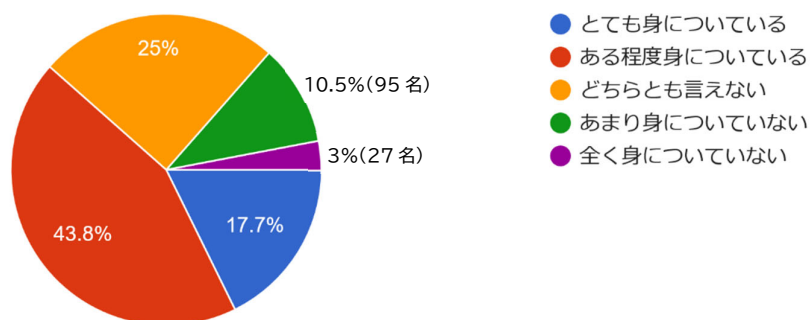


質問 8. 全体 4 年



9. コミュニケーション能力

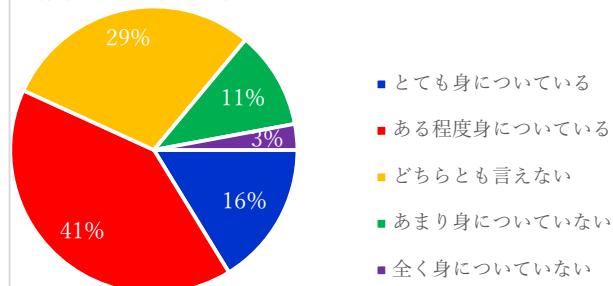
全体



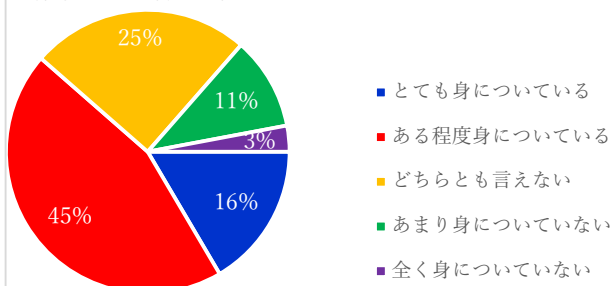
【コメント】

61.5%(昨年度:64.3%)が「ある程度・とても身についている」と半数以上が回答しており、DP④『コミュニケーションとプレゼンテーション能力』を身に付けている。

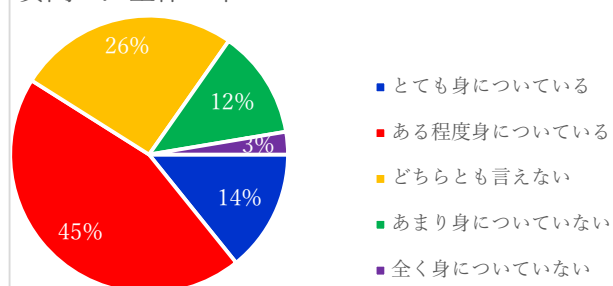
質問 9. 全体 1 年



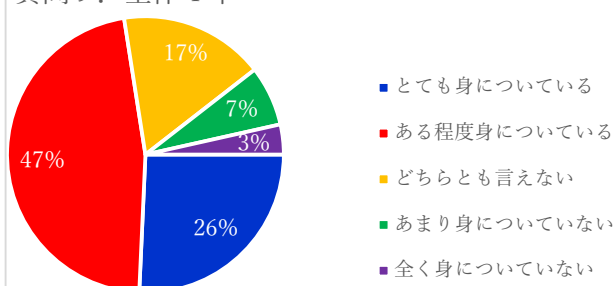
質問 9. 全体 2 年



質問 9. 全体 3 年

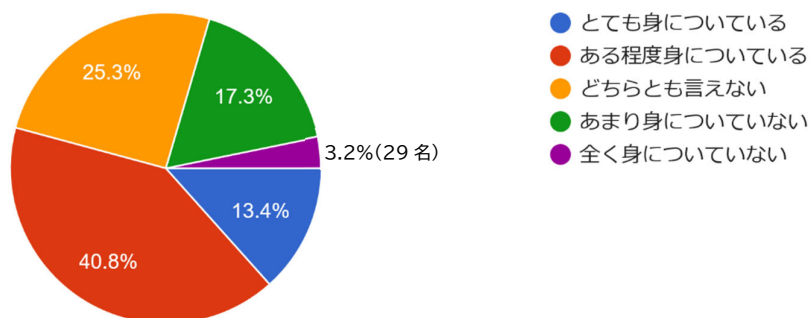


質問 9. 全体 4 年



10. プレゼンテーション能力(人に分かりやすく話す力)

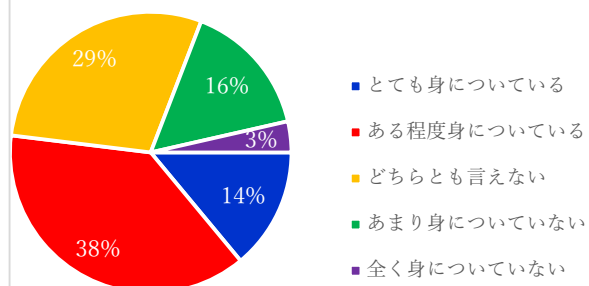
全体



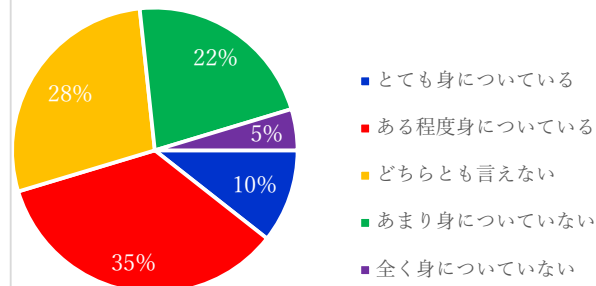
【コメント】

54.2%(51.4%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP④『コミュニケーションとプレゼンテーション能力』を身に付けている。

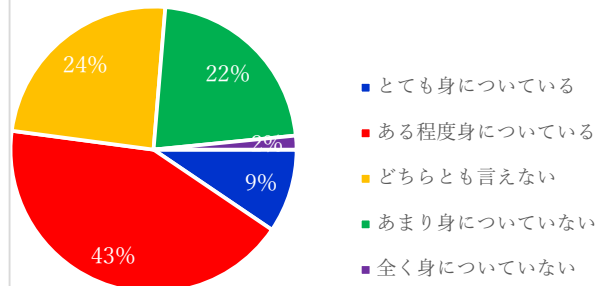
質問10. 全体1年



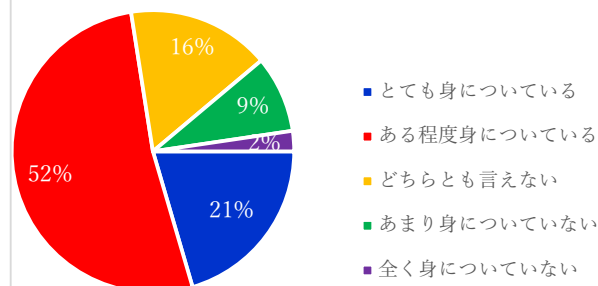
質問10. 全体2年



質問10. 全体3年

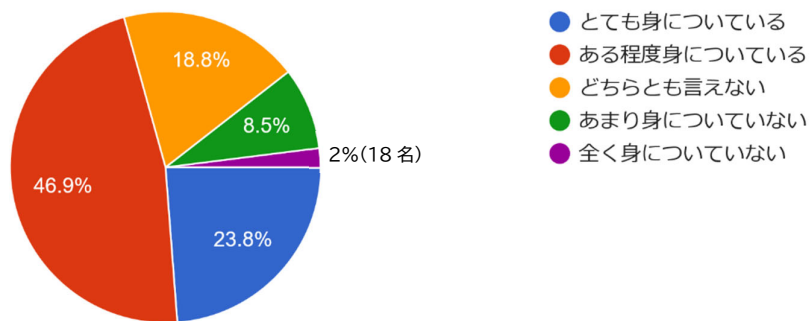


質問10. 全体4年



11. 他者と協働する力

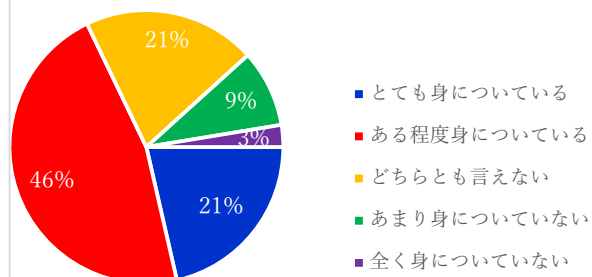
全体



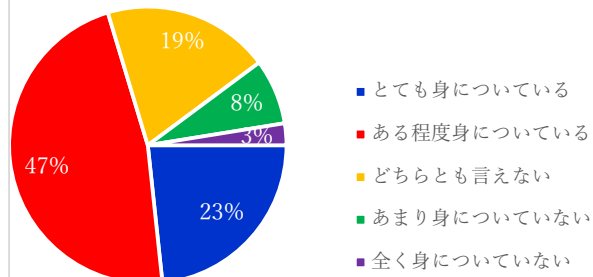
【コメント】

70.7%が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP④『コミュニケーションとプレゼンテーション能力』を身に付けている。

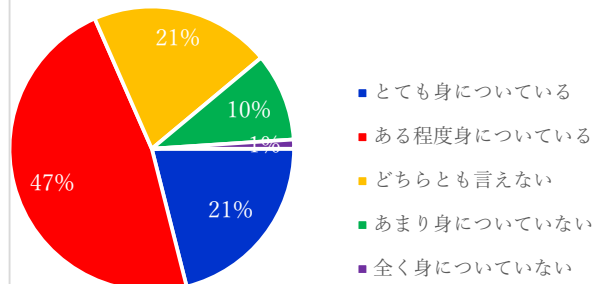
質問 1 1. 全体 1 年



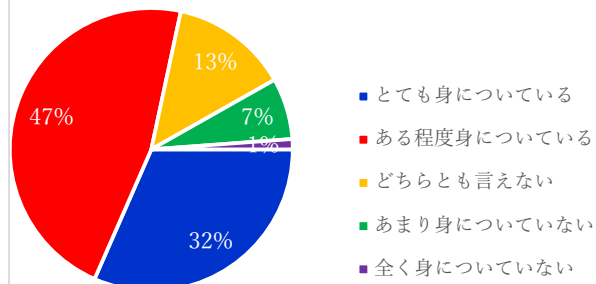
質問 1 1. 全体 2 年



質問 1 1. 全体 3 年

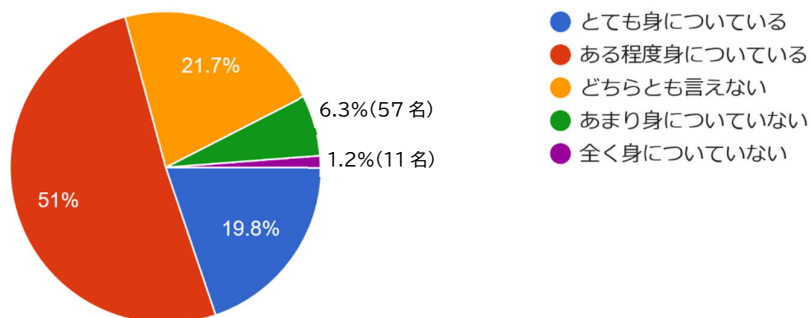


質問 1 1. 全体 4 年



12. 幅広い教養(幅広い知識・ものの見方)

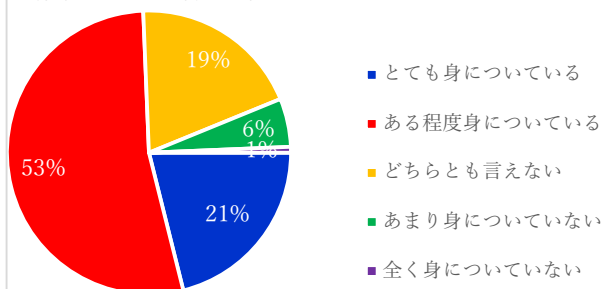
全体



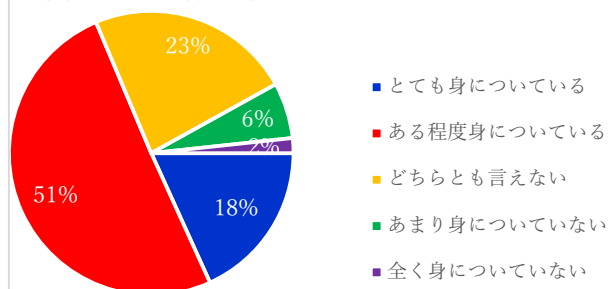
【コメント】

70.8%(昨年度:57.0%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、昨年度から大幅に改善されている。DP④『コミュニケーションとプレゼンテーション能力』、DP⑥『知識のみではなく、生きるための知恵』を身に付けている。

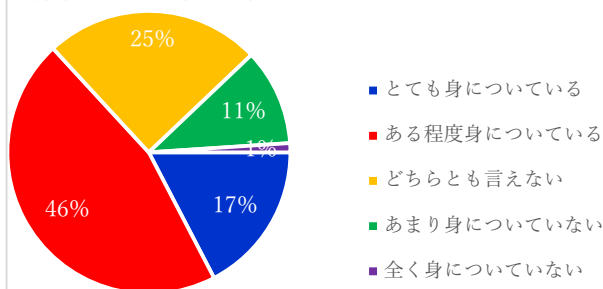
質問12. 全体1年



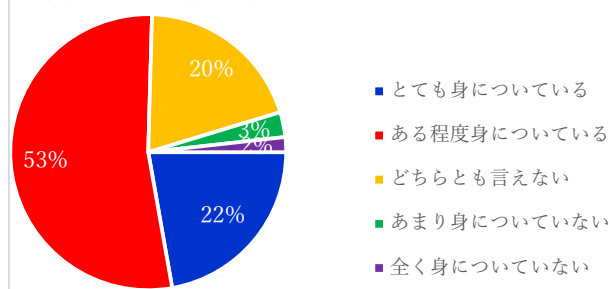
質問12. 全体2年



質問12. 全体3年

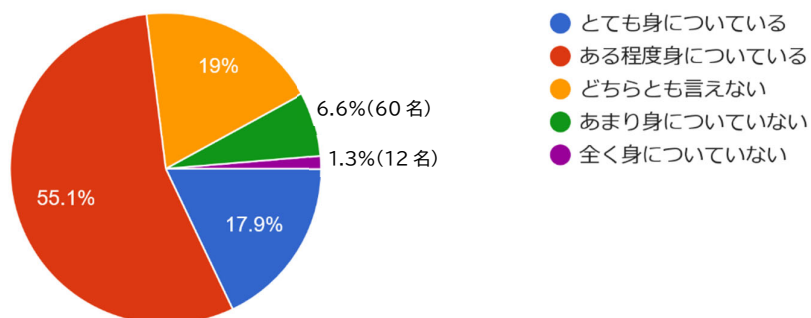


質問12. 全体4年



13.問題発見能力・課題解決能力(問題を見つけて解決方法を考える力)

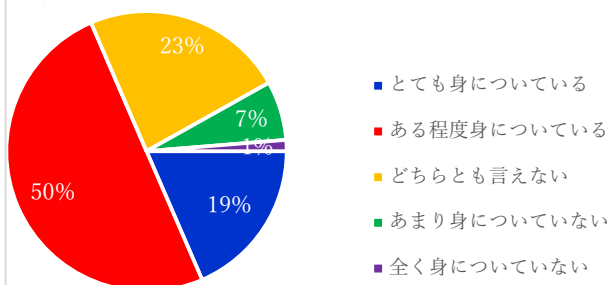
全体



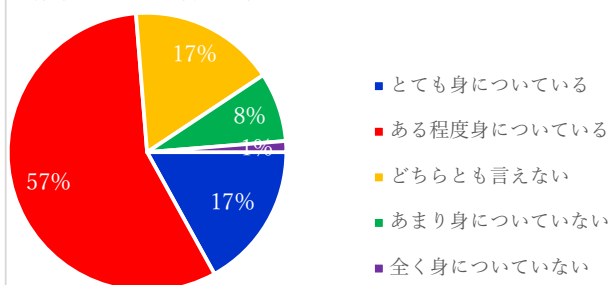
【コメント】

73.0%(昨年度:69.6%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP⑤『自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力』は身に付けている。

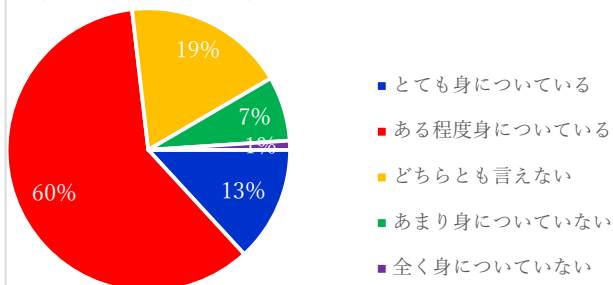
質問 1 3. 全体 1 年



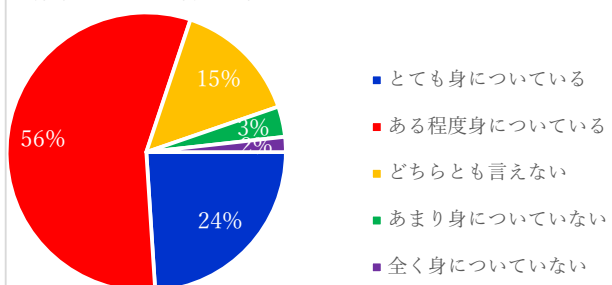
質問 1 3. 全体 2 年



質問 1 3. 全体 3 年

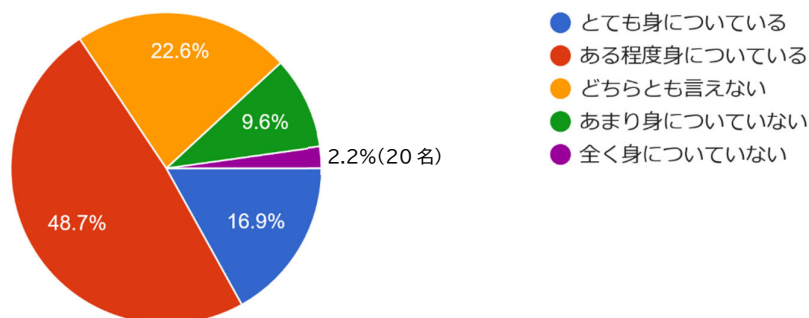


質問 1 3. 全体 4 年



14.論理的思考(論理的に文章を書く力)

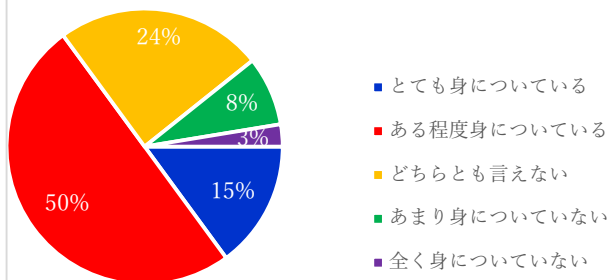
全体



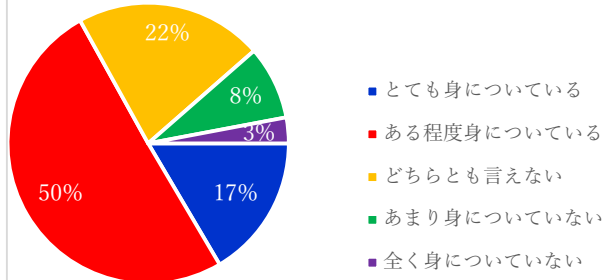
【コメント】

65.6%(昨年度:67.1%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP⑤『自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し自身で工夫できる問題発見・解決能力』、DP⑥『知識のみではなく、生きるための知恵』を身に付けている。

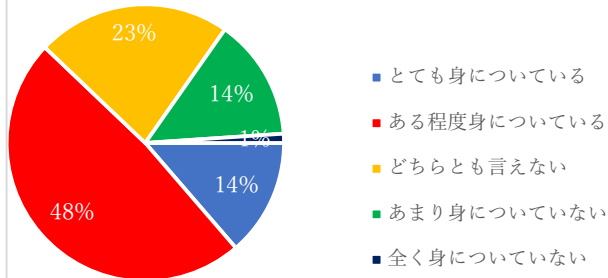
質問 1 4. 全体 1 年



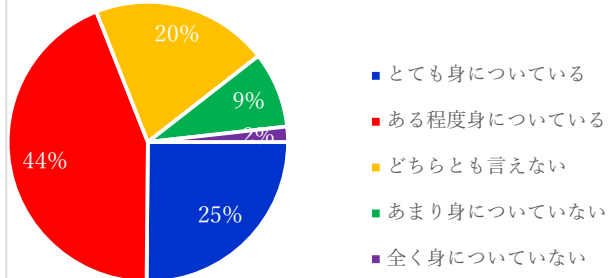
質問 1 4. 全体 2 年



質問 1 4. 全体 3 年

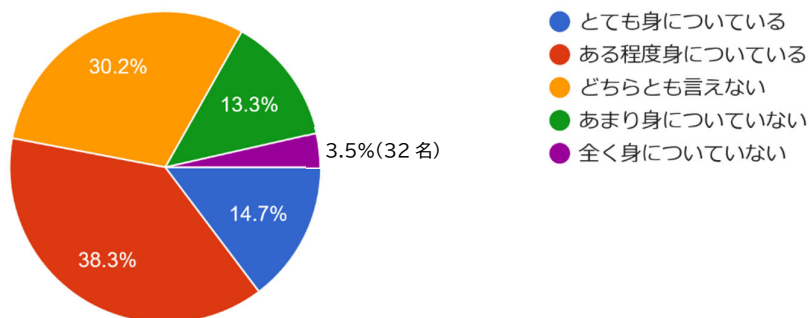


質問 1 4. 全体 4 年



15.地域や社会に貢献する意識

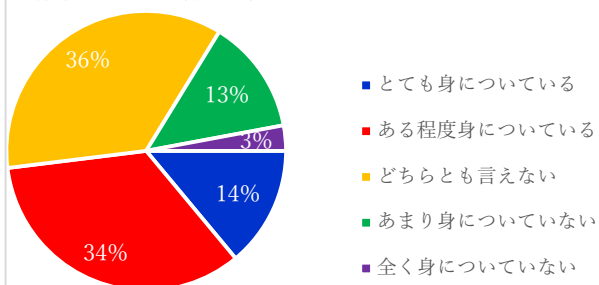
全体



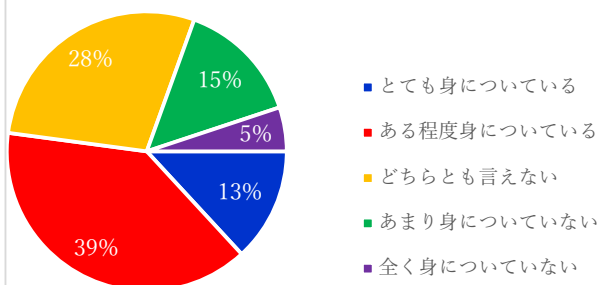
【コメント】

53.0%(昨年度:45.5%)が「ある程度・とても身についている」と回答しており、DP⑥『知識のみではなく、生きるための知恵』を身に付けている。ただし、約30%が『どちらとも言えない』と回答しているため、引き続き意識を持たせるための取組みが必要。

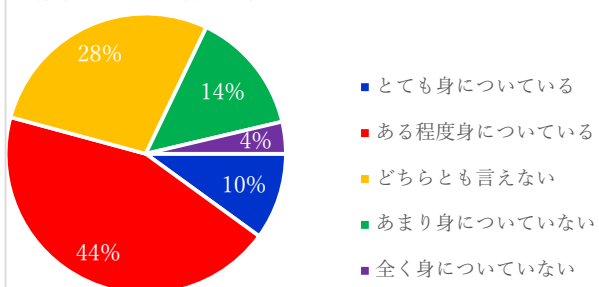
質問 1 5. 全体 1 年



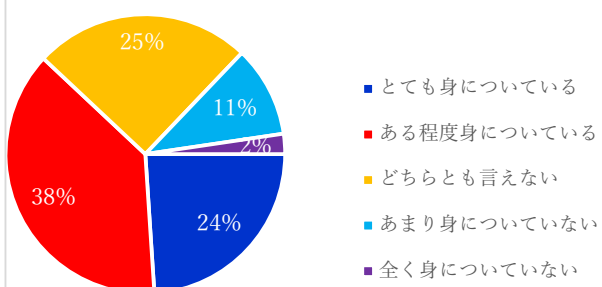
質問 1 5. 全体 2 年



質問 1 5. 全体 3 年



質問 1 5. 全体 4 年



3. アンケートからみる3つのポリシーを踏まえた適切性

学修成果アンケートのうち、ディプロマ・ポリシー(DP)記載の能力が身につけたレベル(5段階)に関するアンケート(11問)について分析した結果を示す。分析においては、アンケート回答(身についたレベル)に応じて1～5点を付与し、各 DP のスコアを関連する問の平均点の加重平均により求めた(図1)。

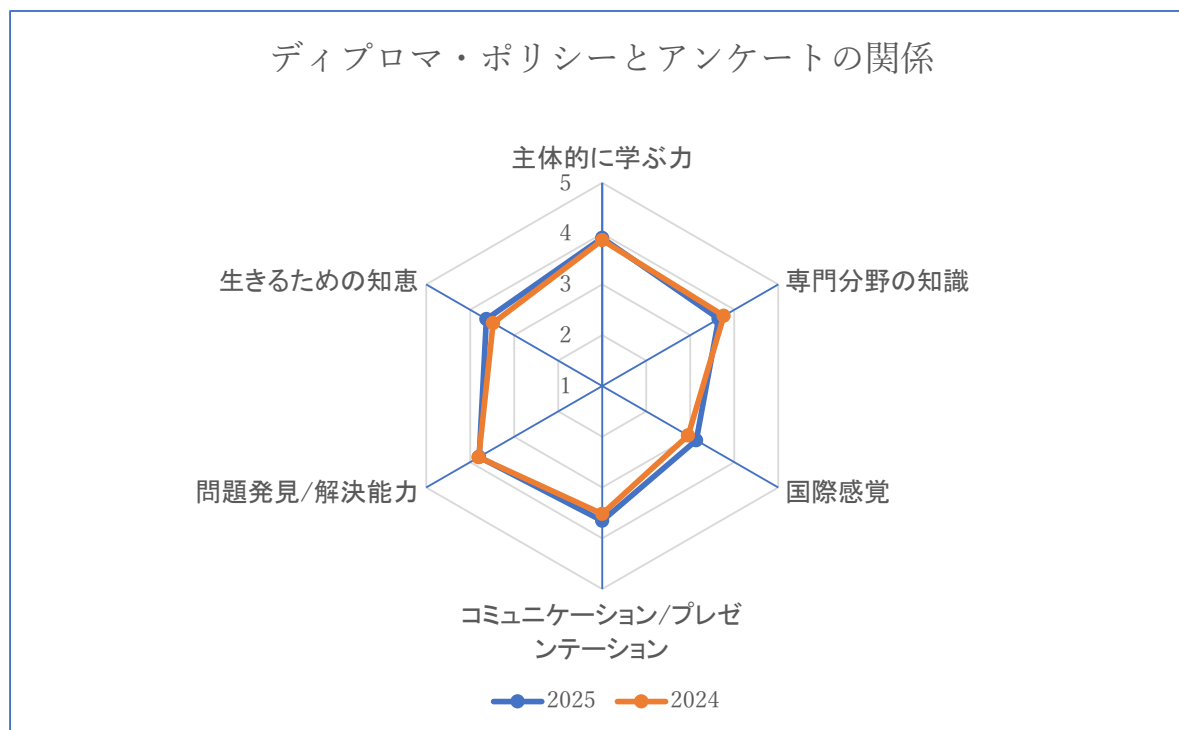


図1. ディプロマ・ポリシー(DP)とアンケート

DP③(国際感覚)のスコアは 3.14(昨年度 2.95)と低く、1つのレベルで表現すれば「どちらとも言えない」と学生が感じ、他の DP については 3.6 以上であることから、「ある程度以上身につけている」と感じる学生が多い。

このことからディプロマに関する能力を身につけるためのカリキュラム・ポリシーは DP③に関するものを除いて適切であると考ええる。また、アドミッション・ポリシーについても同様に DP③を達成すること以外については問題ない。

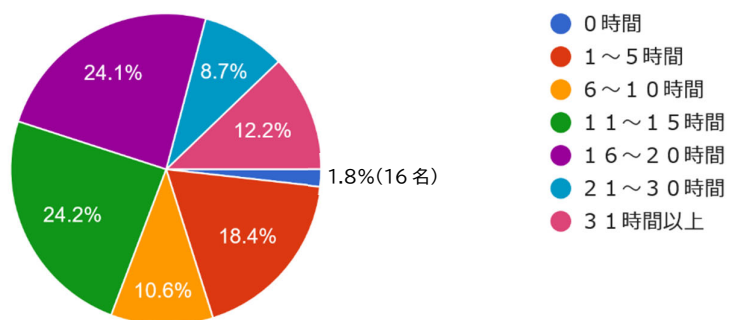
この結果を受け、DP③に関わる英語教育について見直しを行い、学生にとって能力が身についたと感じられるよう改善を図ることを提言する。

今回のアンケートでは「日本語・数学などの基礎能力」について問う質問を含めおり、その回答の平均点が 3.70 と高かったことから、英語教育は引き続き工夫が必要である。

16. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)

※授業期間中の平均的な1週間(7日間)を対象とする

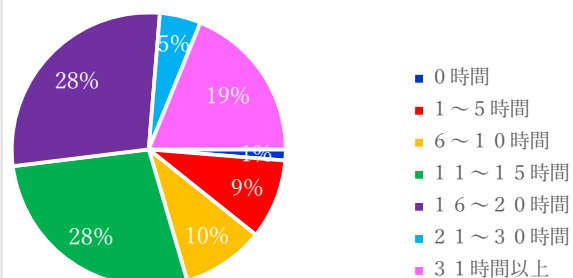
全体



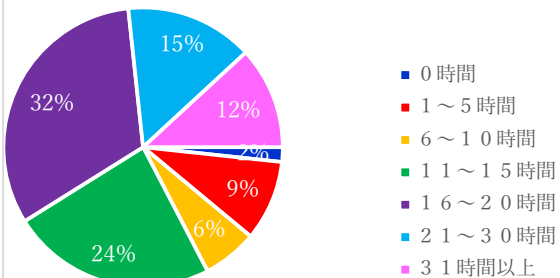
【コメント】

11～20時間(7コマ～13コマ)が48.3%を占めている。なお、31時間以上(20コマ以上:1日4コマ以上)は12.2%(110名)。

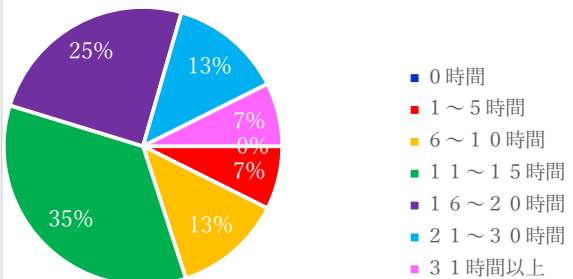
質問16. 全体1年



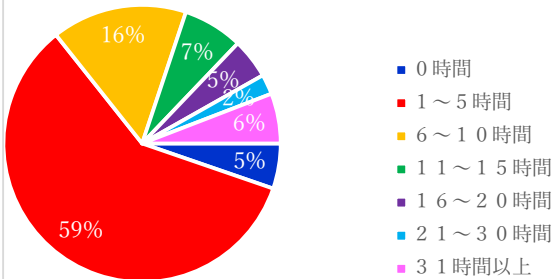
質問16. 全体2年



質問16. 全体3年



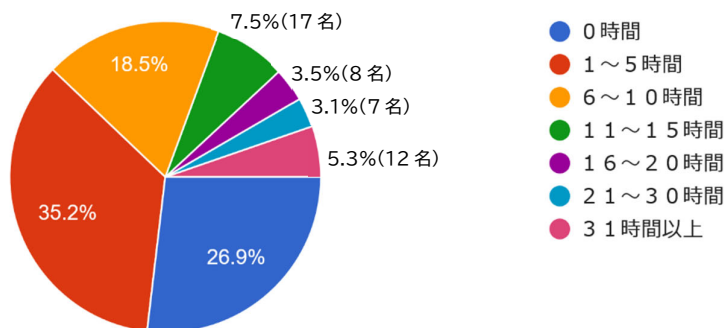
質問16. 全体4年



17. 卒業論文・卒業研究・卒業制作(4年生のみ)

※授業期間中の平均的な1週間(7日間)を対象とする

全体



【コメント】

卒業論文・卒業研究・卒業制作に時間を割いていない数値となったが、質問した時期の問題か。

質問 17. 全体 1 年

該当なし

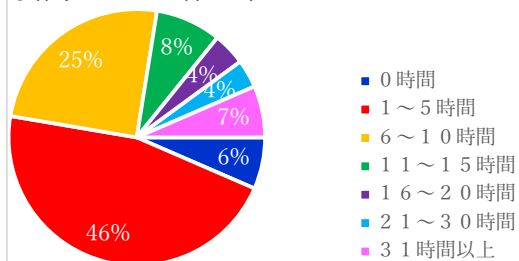
質問 17. 全体 2 年

該当なし

質問 17. 全体 3 年

該当なし

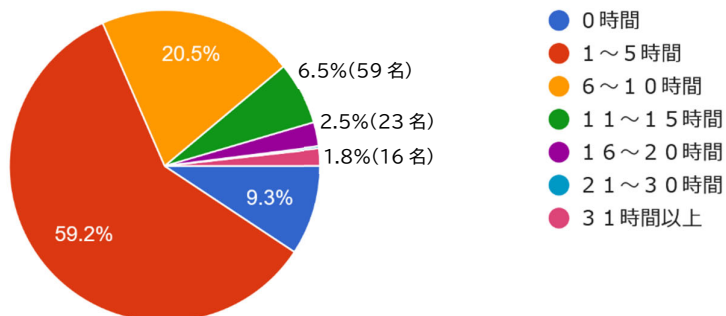
質問 17. 全体 4 年



18. 授業外時間の学習時間(予習・復習・課題など授業に関する学修時間(卒業論文等は除く))

※授業期間中の平均的な1週間(7日間)を対象とする

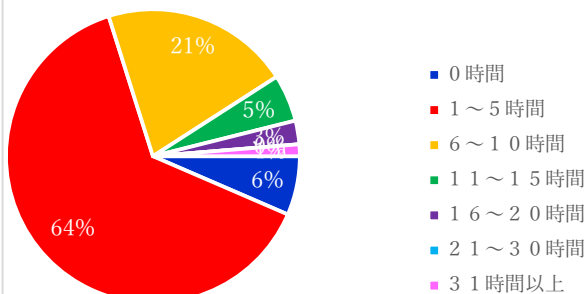
全体



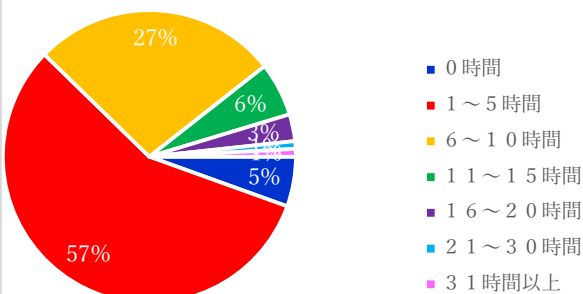
【コメント】

「1～5時間」と回答した学生が59.2%(昨年度:51.1%)と1番多い。

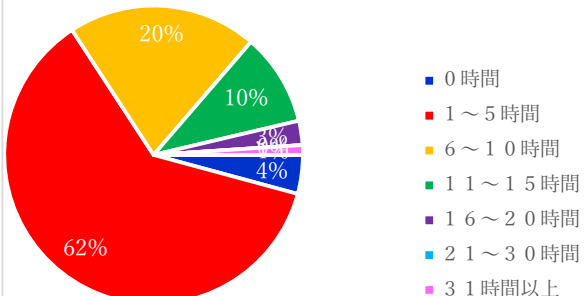
質問18. 全体1年



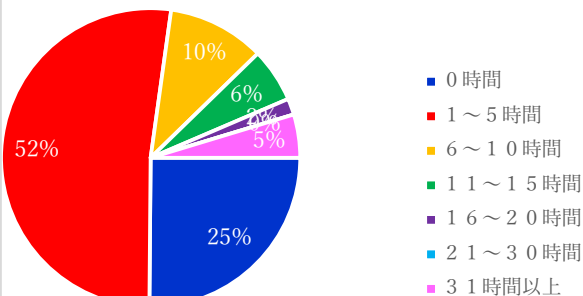
質問18. 全体2年



質問18. 全体3年



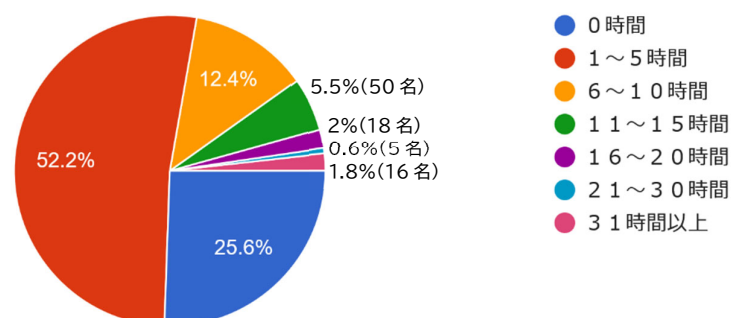
質問18. 全体4年



19. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強など)

※授業期間中の平均的な1週間(7日間)を対象とする

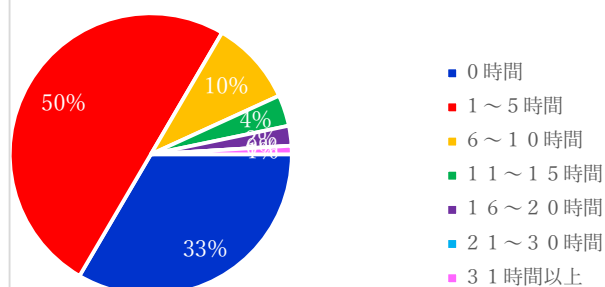
全体



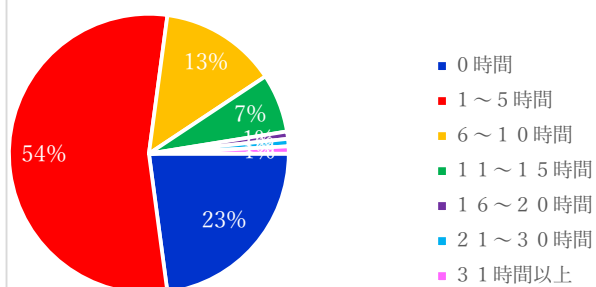
【コメント】

「1～5時間」と回答した学生が52.2%と1番多い。

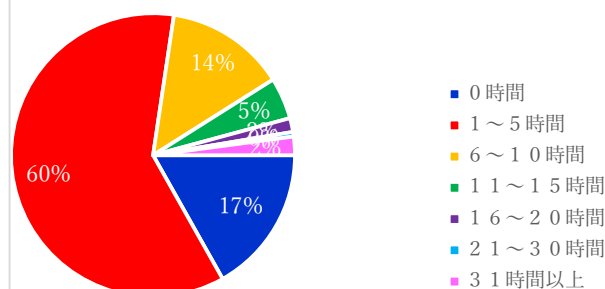
質問19. 全体1年



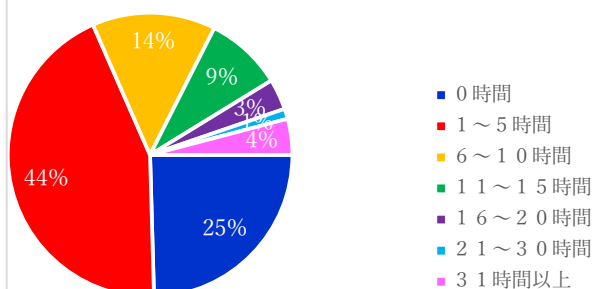
質問19. 全体2年



質問19. 全体3年

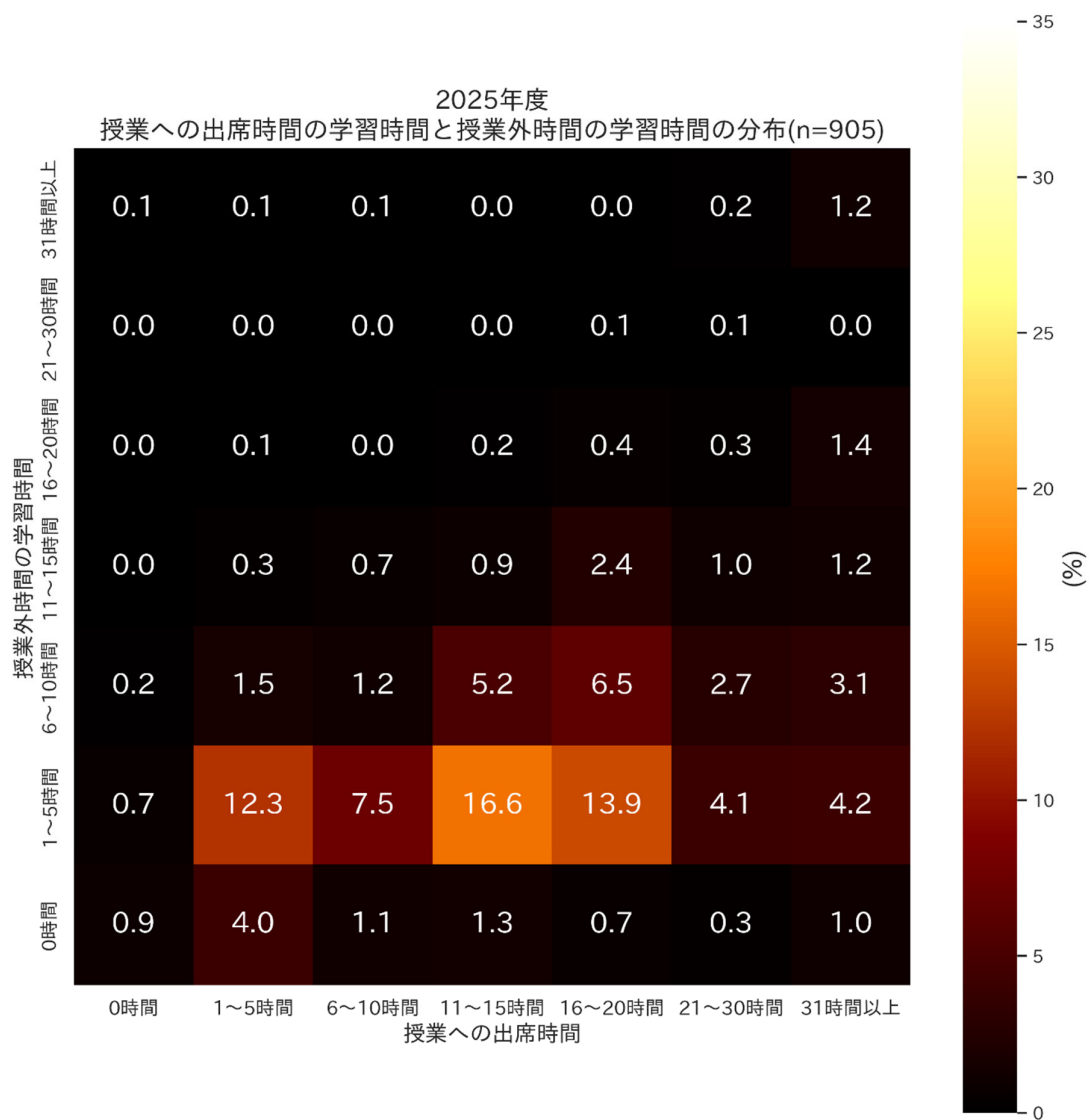


質問19. 全体4年



◆IR分析①

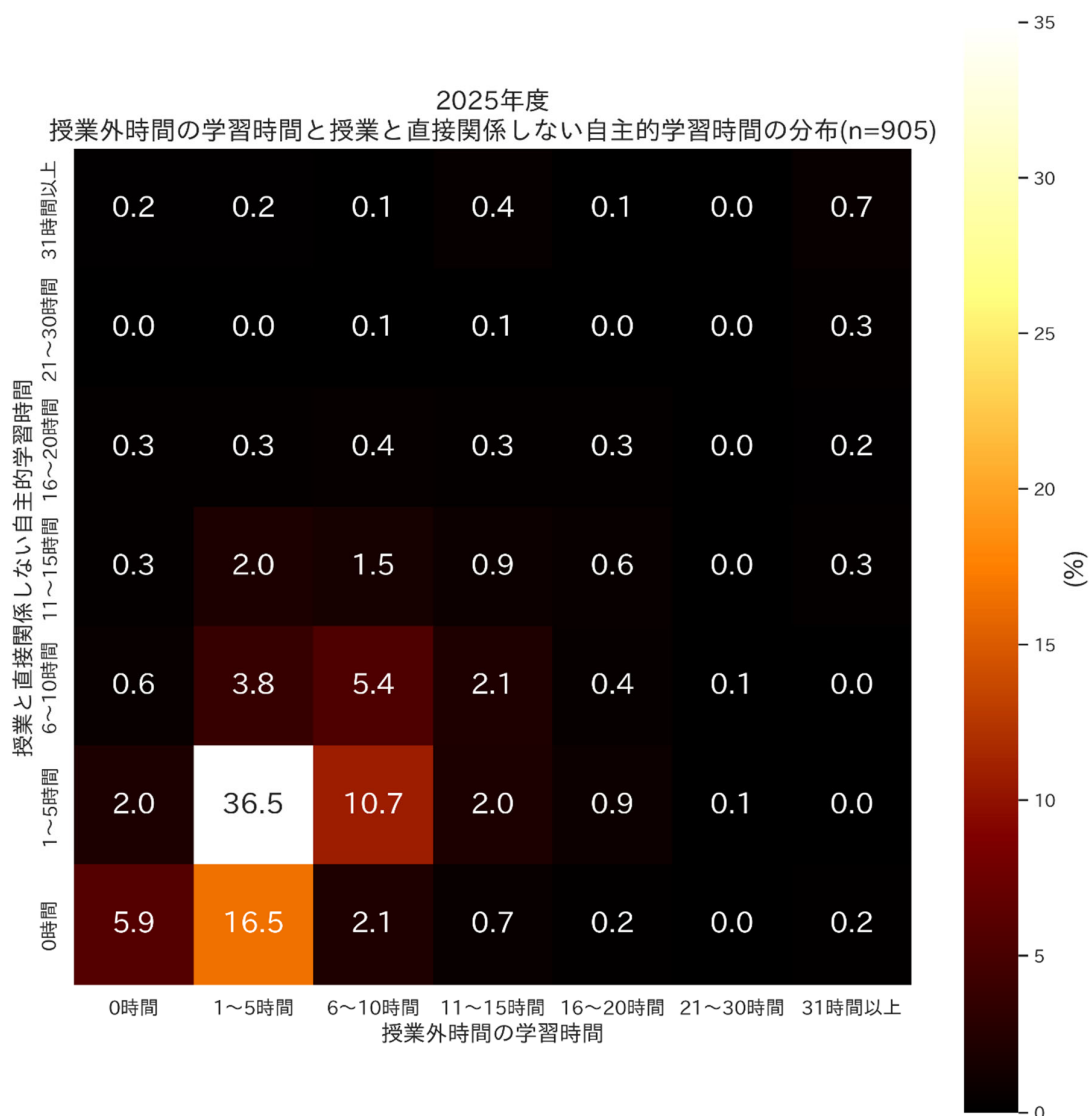
授業への出席時間の学習時間と授業外時間の学習時間の分布をヒートマップで示した。



- 授業への出席時間に依らず、授業外学習の時間は10時間以下が大多数を占める。理由としては、授業内で課題等を済ませている、予習・復習の習慣がない、が考えられる。
- 3年生以下の学年で授業への出席時間を「0時間」と回答した学生が8名いる。

◆IR分析②

授業外時間の学習時間と直接関係しない自主的学習時間の分布をヒートマップで示した。

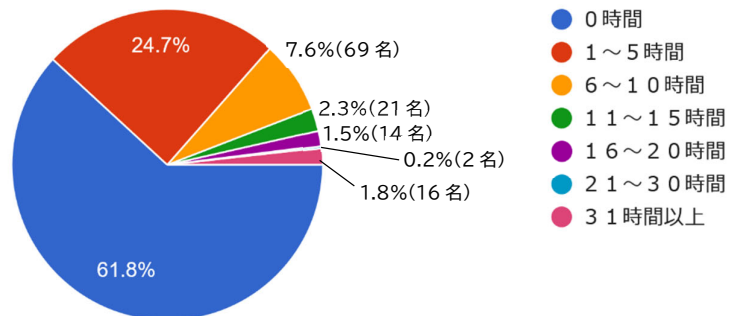


- 授業外学習時間と自主的学習時間の多くは「少ない時間」に集中している。「授業外 1～5 時間・自主学習 1～5 時間」の組み合わせが最も多い(36.5%)。「授業外 0 時間・自主学習 0 時間」(5.9%)も存在する。
- 授業外学習が多い学生は少数派。 授業外に 10 時間以上学習する学生や、自主学習を 10 時間以上行う学生はごく一部である。
- 全体的に「授業外学習時間が少ない層」に分布が偏っている。 授業外 0～5 時間の範囲に 7 割近くが集中している。

20. 部活動／サークル活動時間

※授業期間中の平均的な1週間(7日間)を対象とする

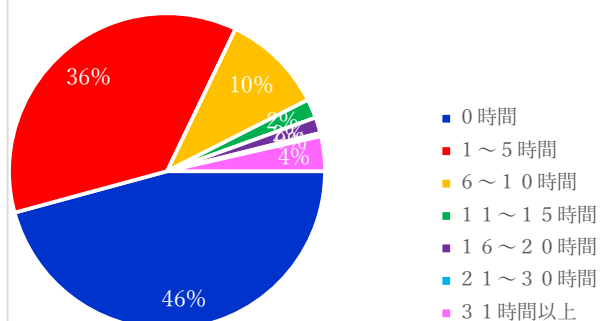
全体



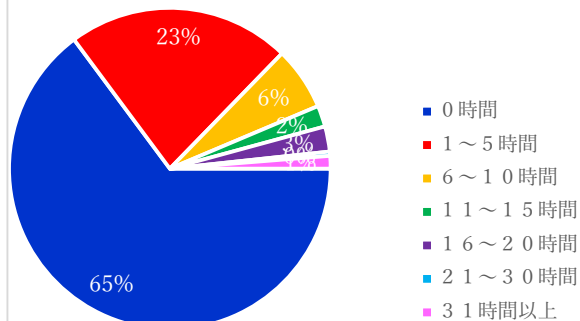
【コメント】

61.8%の学生が部活動／サークル活動に関わっていない。

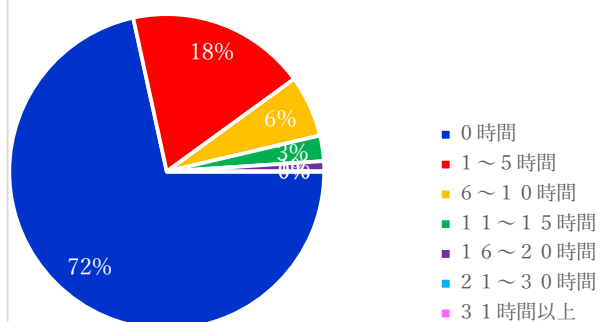
質問20. 全体1年



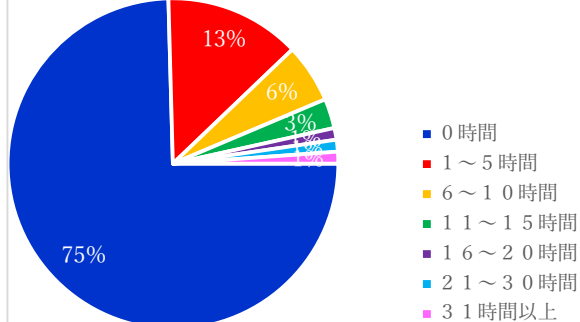
質問20. 全体2年



質問20. 全体3年



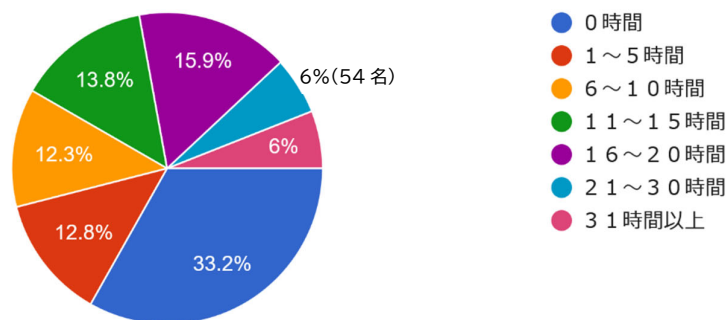
質問20. 全体4年



21. アルバイト／定職

※授業期間中の平均的な1週間(7日間)を対象とする

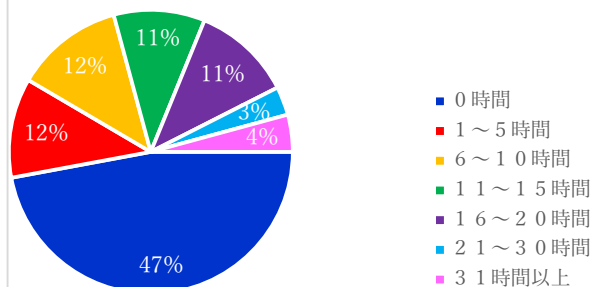
全体



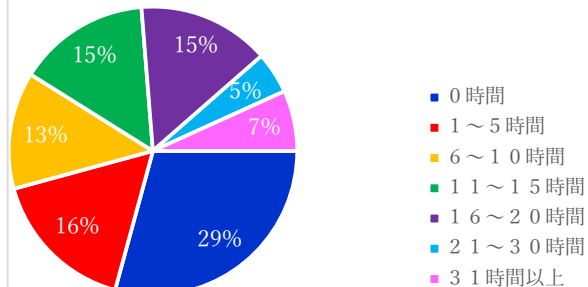
【コメント】

33.2%と回答した学生が1番多い。

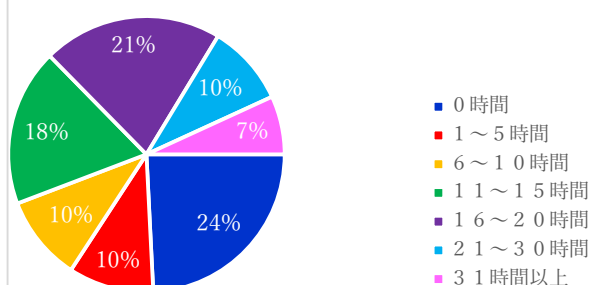
質問 2 1. 全体 1 年



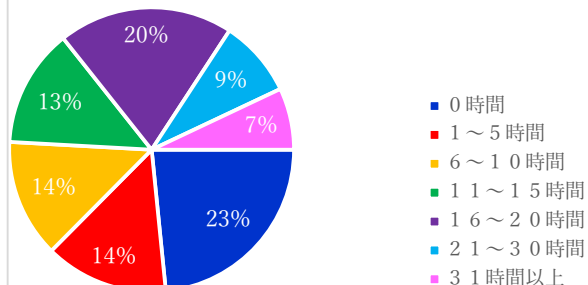
質問 2 1. 全体 2 年



質問 2 1. 全体 3 年

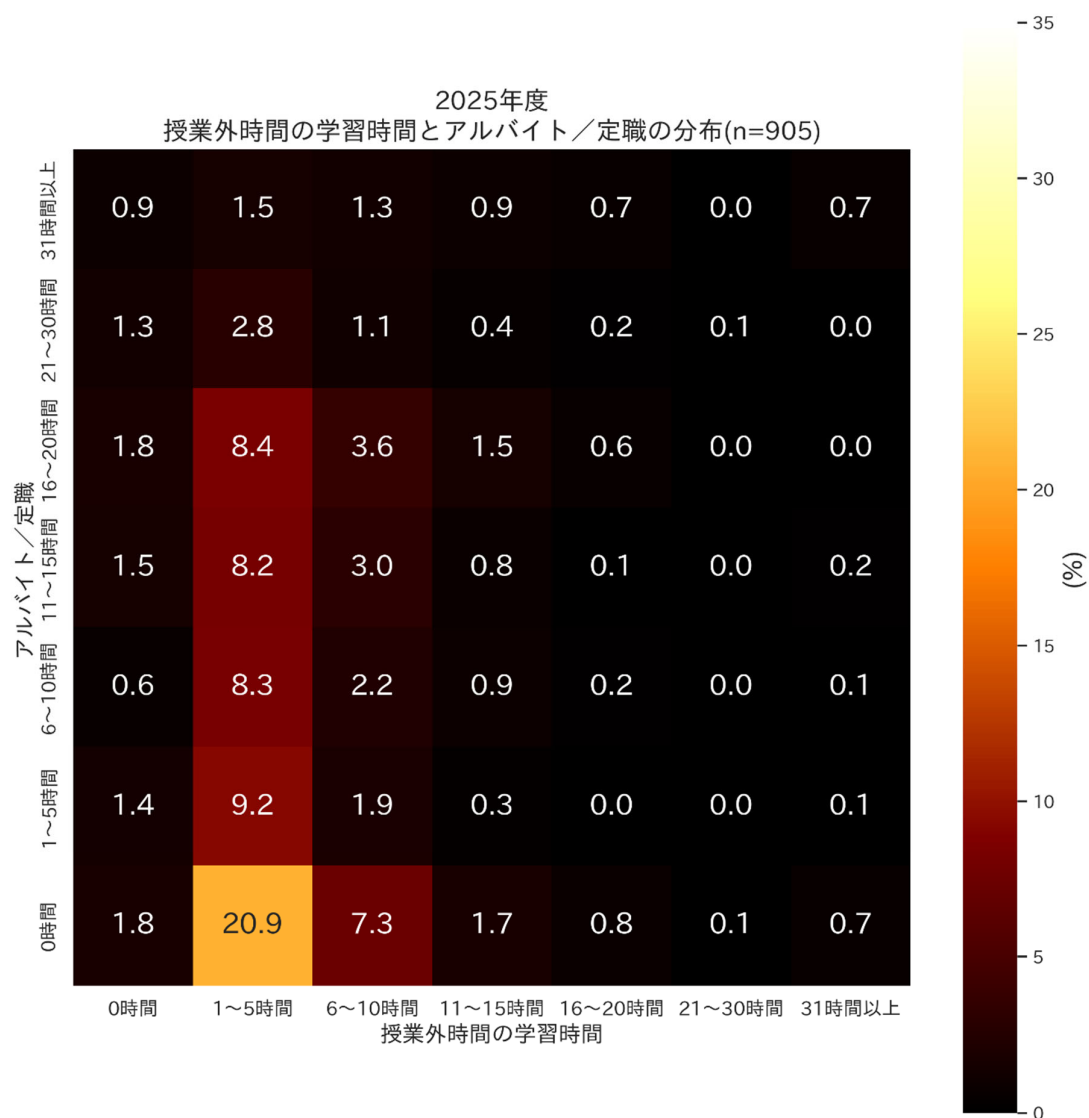


質問 2 1. 全体 4 年



◆IR分析③

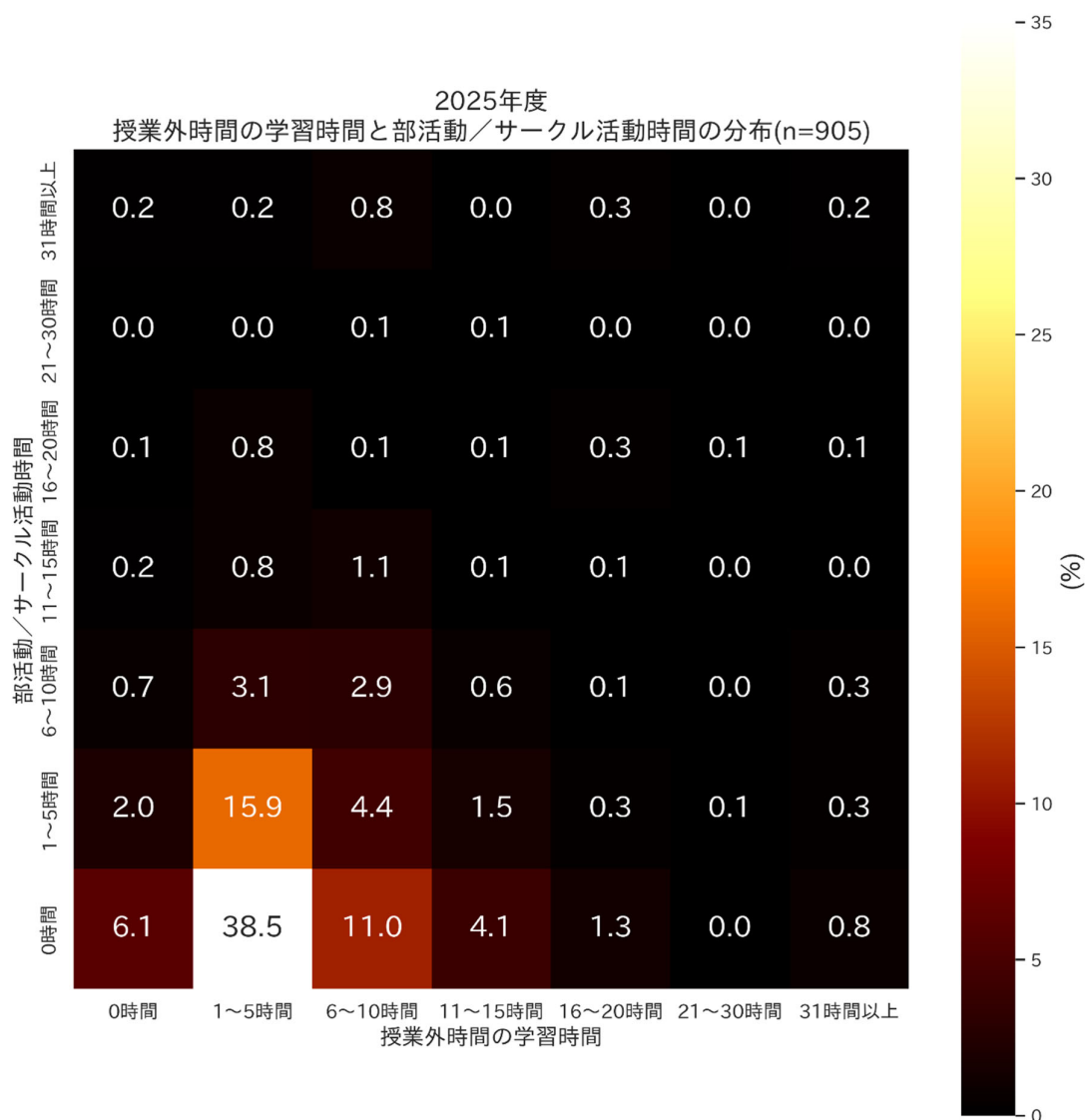
授業外時間の学習時間とアルバイト／定職の活動時間の分布をヒートマップで示した。



- 多くの学生がアルバイト時間も授業外学習時間も少なく、両方を多くこなす学生は極めて少ない
- アルバイト時間が増えると、授業外学習時間は減少傾向。

◆IR分析④

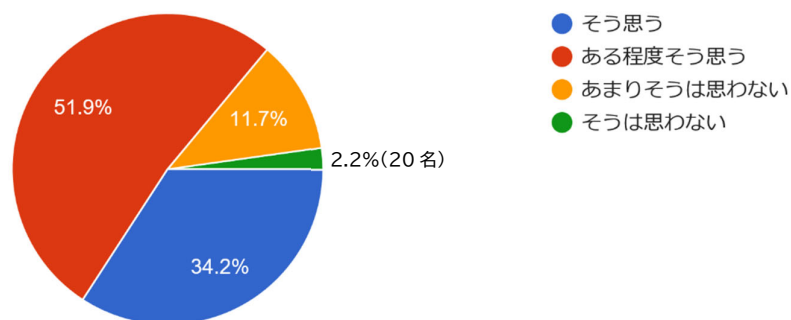
授業外時間の学習時間と部活／サークル活動時間の分布をヒートマップで示した。



- ・ 「授業外学習 0 時間 × 部活動 1～5 時間」(38.5%)が最大。
- ・ 部活動・サークルをしている学生は、授業外学習時間がさらに少なくなる傾向がある。

22. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している

全体

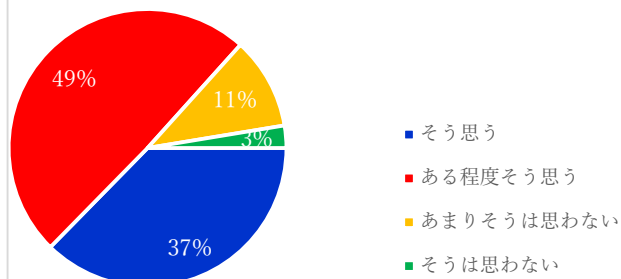


【コメント】

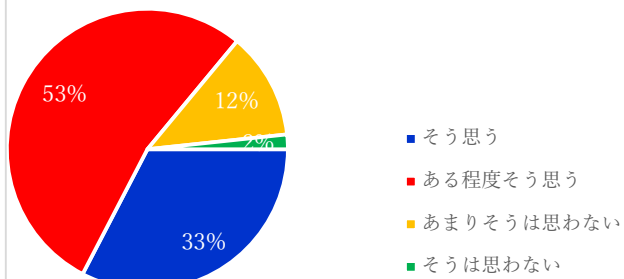
86.1%が「そう思う・ある程度そう思う」と回答。

「問2:将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観」で77.0%が身に付いたと回答しており、繋がるようにしたい。

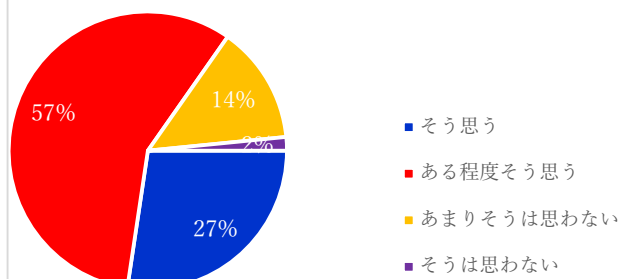
質問 2 2. 全体 1 年



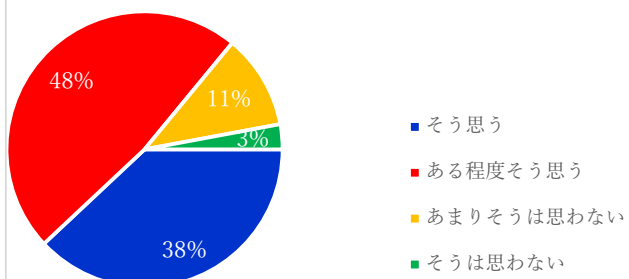
質問 2 2. 全体 2 年



質問 2 2. 全体 3 年

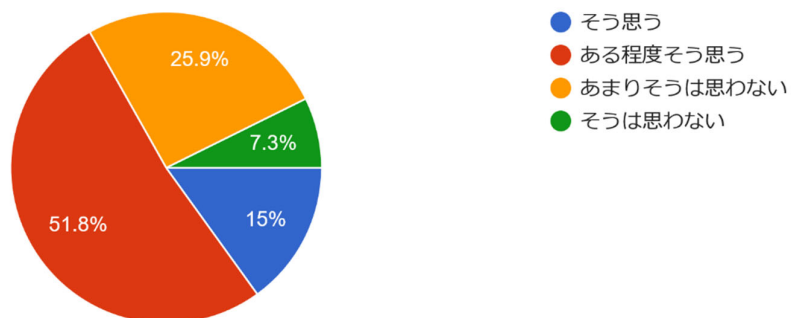


質問 2 2. 全体 4 年



23. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている

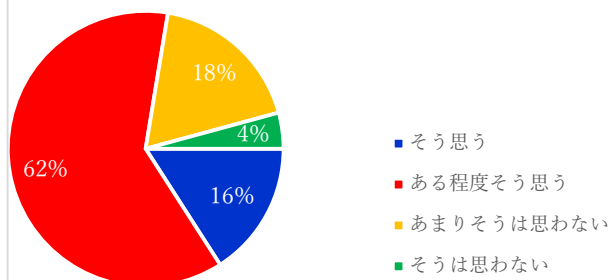
全体



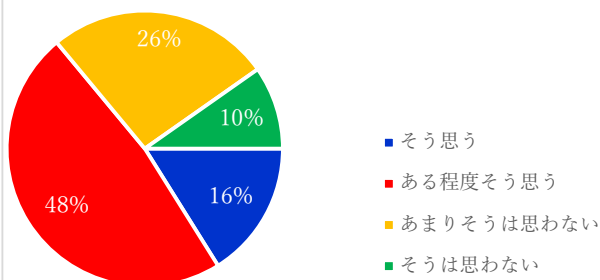
【コメント】

33.2%の学生が「そうは思わない」と回答している。

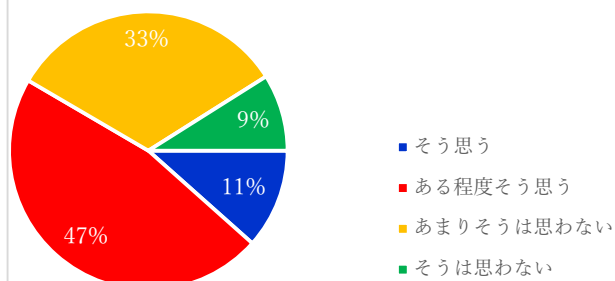
質問 2 3. 全体 1 年



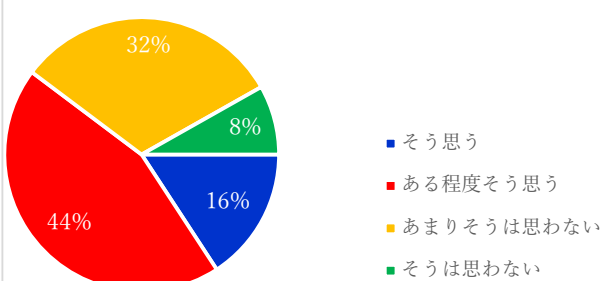
質問 2 3. 全体 2 年



質問 2 3. 全体 3 年

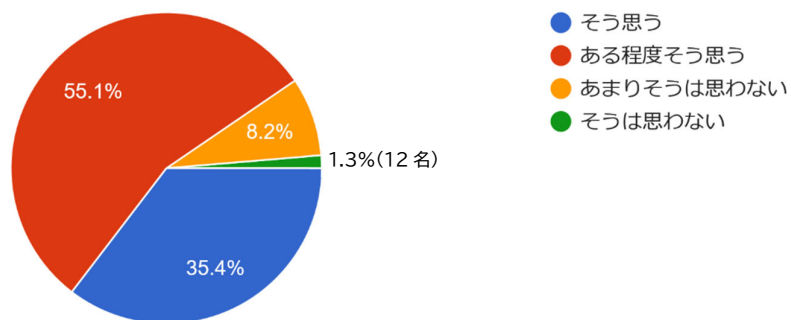


質問 2 3. 全体 4 年



24. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる

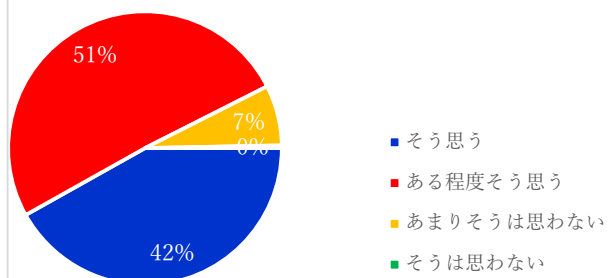
全体



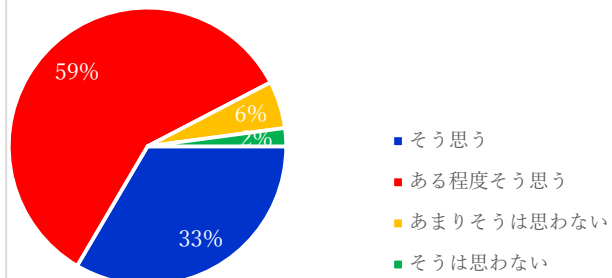
【コメント】

90.5%(昨年度:81.7%)が「そう思う、ある程度そう思う」と回答している。

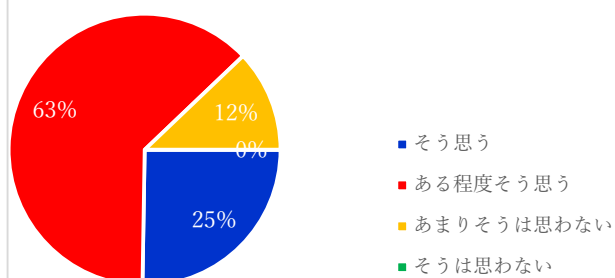
質問 2 4 . 全体 1 年



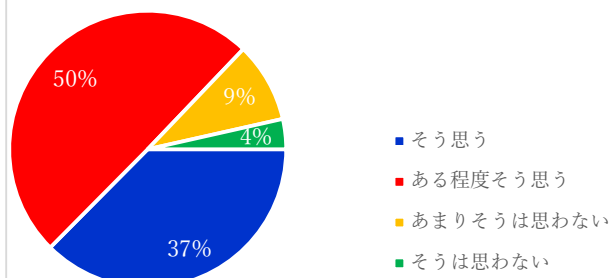
質問 2 4 . 全体 2 年



質問 2 4 . 全体 3 年

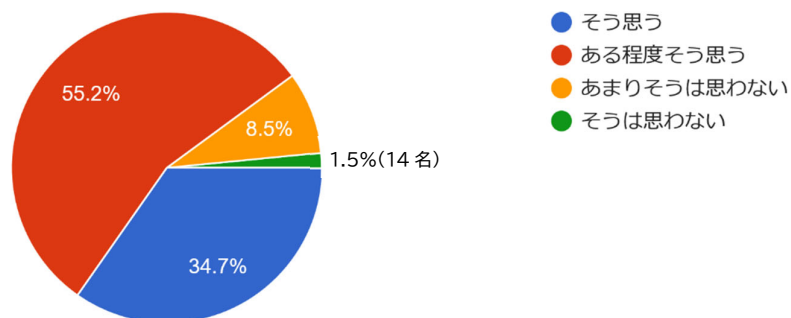


質問 2 4 . 全体 4 年



25. 大学の学びによって成長を実感している

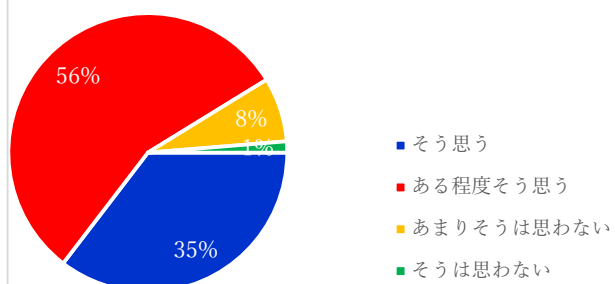
全体



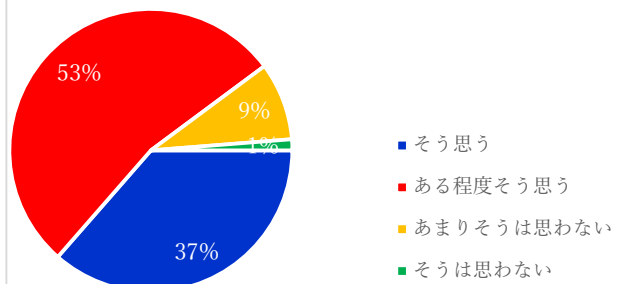
【コメント】

89.9%(昨年度:76.4%)が「そう思う、ある程度そう思う」と回答している。大学広報の情報とできるように分析を続ける。

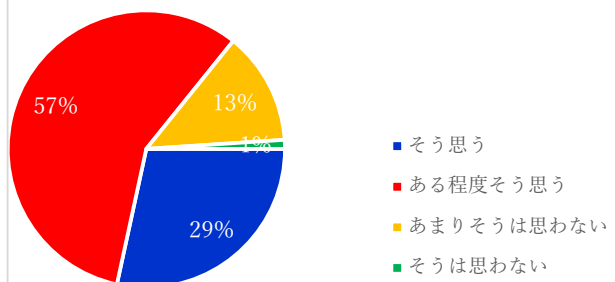
質問 2 5. 全体 1 年



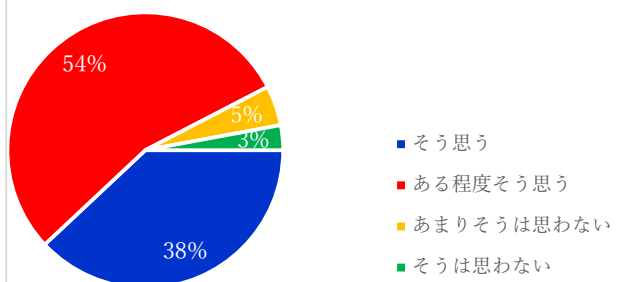
質問 2 5. 全体 2 年



質問 2 5. 全体 3 年

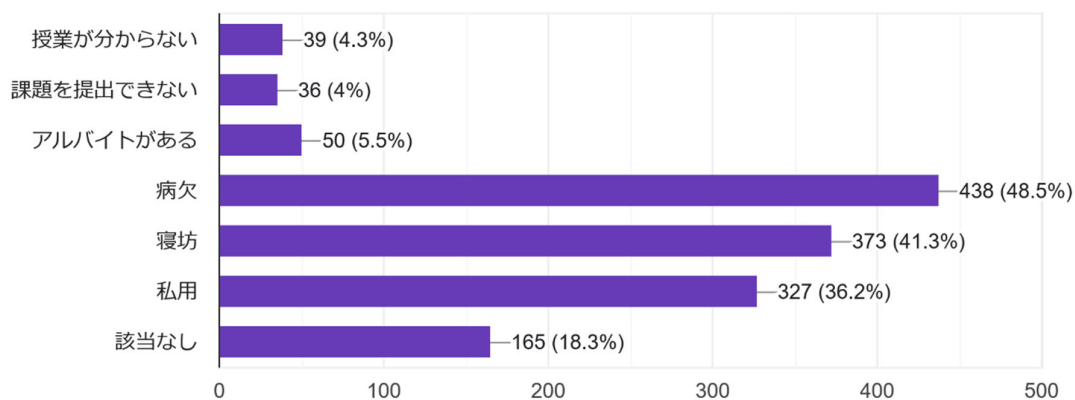


質問 2 5. 全体 4 年



26. 授業を休んでしまう理由として、あてはまるものを選んでください(複数回答可)

全体

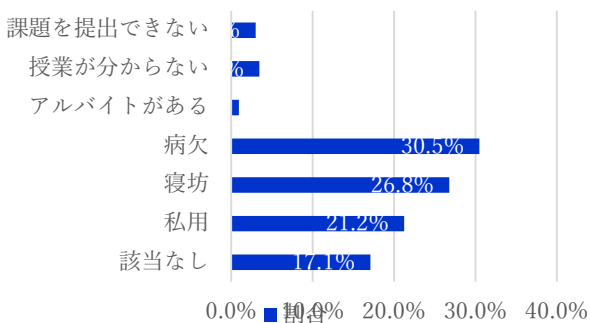


【コメント】

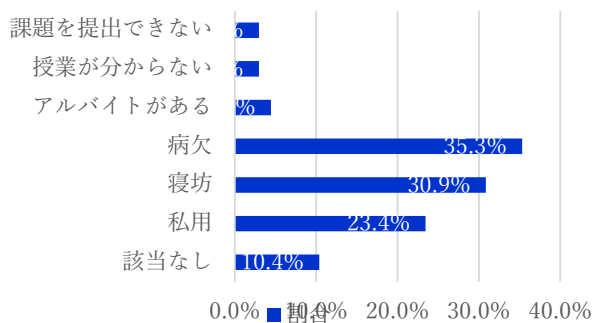
昨年度から選択肢(病欠・寝坊・私用)を増やした。

病欠はやむを得ないが、寝坊・私用の割合も高く、授業出席に対する意識が低く感じる。

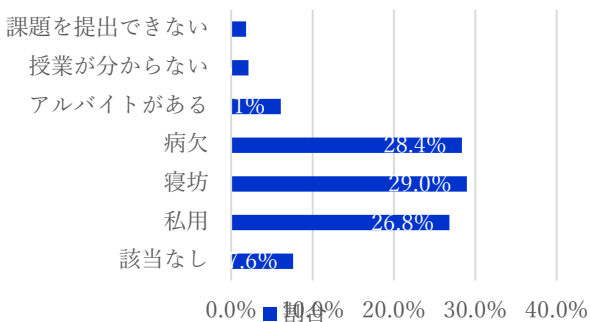
質問 2 6. 全体 1 年



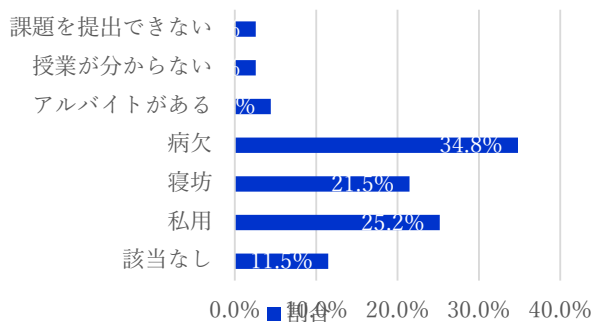
質問 2 6. 全体 2 年



質問 2 6. 全体 3 年

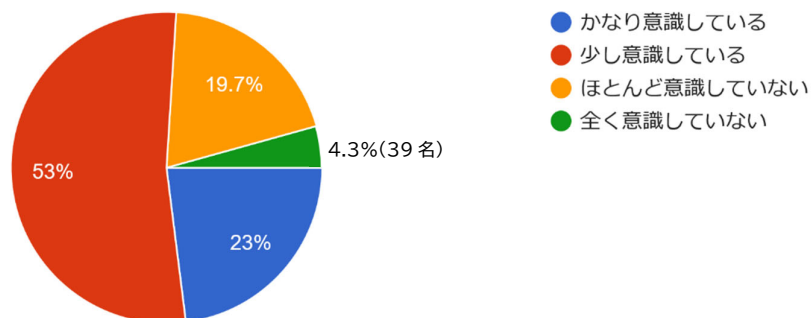


質問 2 6. 全体 4 年



27. GPA を高くすることを意識して講義に取り組んでいますか

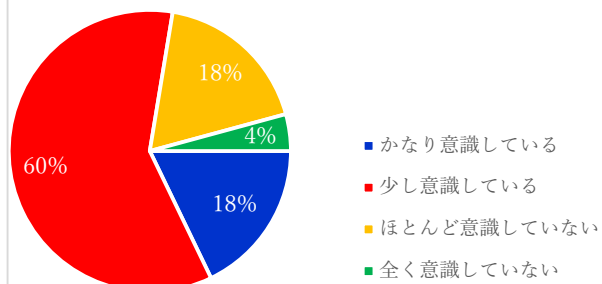
全体



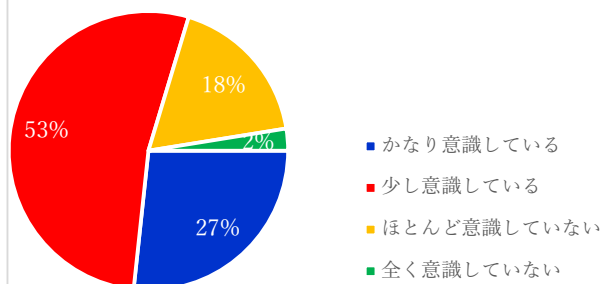
【コメント】

GPA を「少し・かなり意識している」と回答した学生は 76.0%(昨年度:78.3%)と高い。
奨学金制度の影響もあるか。

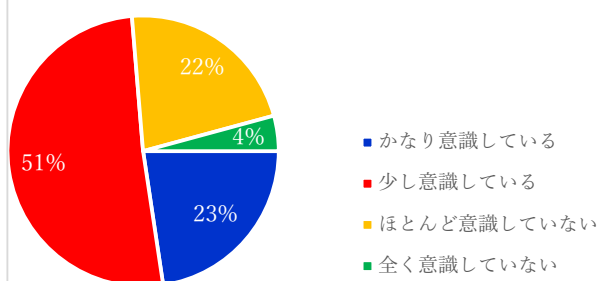
質問 2 7. 全体 1 年



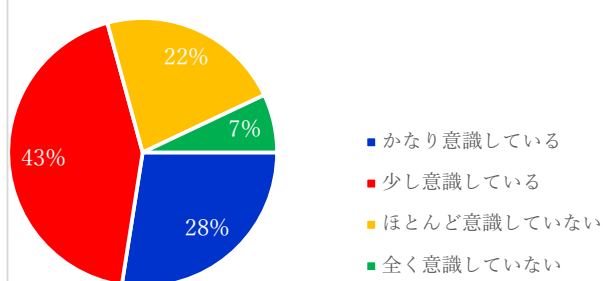
質問 2 7. 全体 2 年



質問 2 7. 全体 3 年

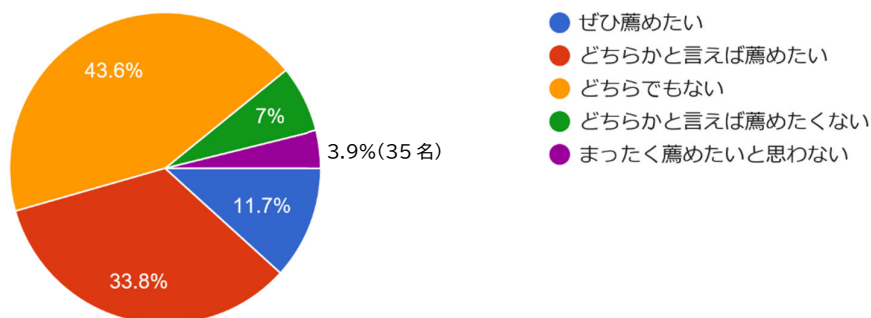


質問 2 7. 全体 4 年



28. 北海道情報大学を出身校の生徒や教諭に薦めたいですか

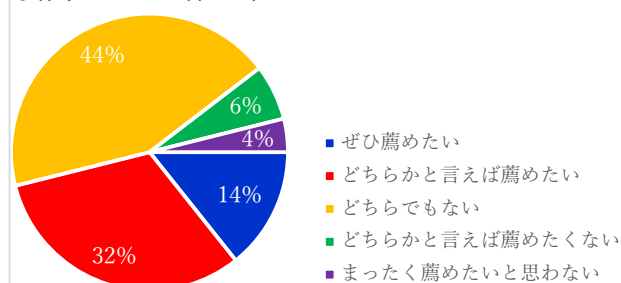
全体



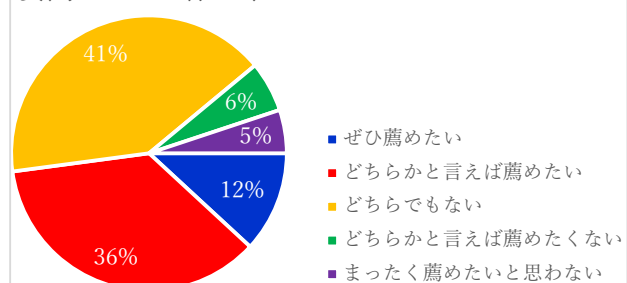
【コメント】

「どちらでもない」「どちらかと言えば・まったく薦めたいと思わない」とした学生が 54.5% (昨年度: 54.8%) と多い。引き続き学生が本学を進めたいと思えるように学修環境や学内の設備を整える必要がある。

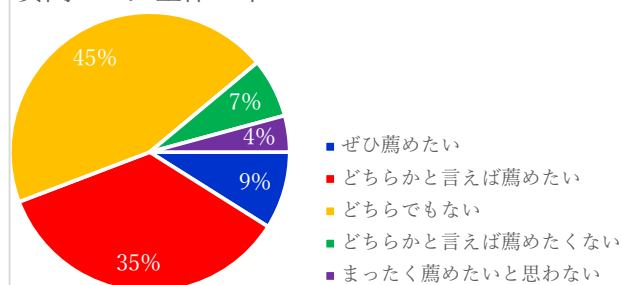
質問 28. 全体 1 年



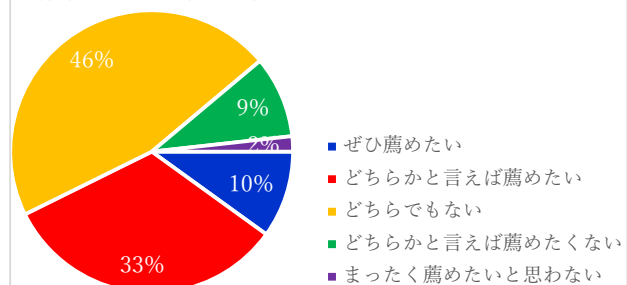
質問 28. 全体 2 年



質問 28. 全体 3 年

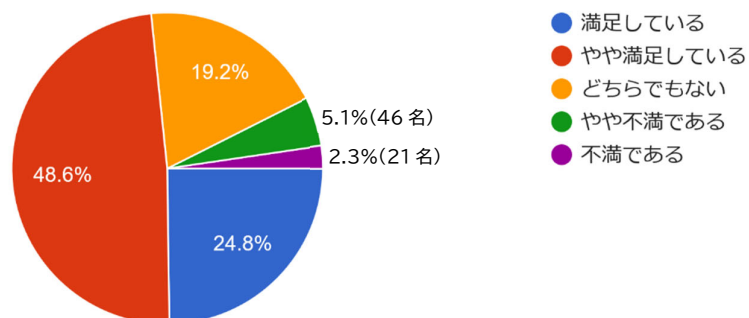


質問 28. 全体 4 年



29. 大学に満足していますか

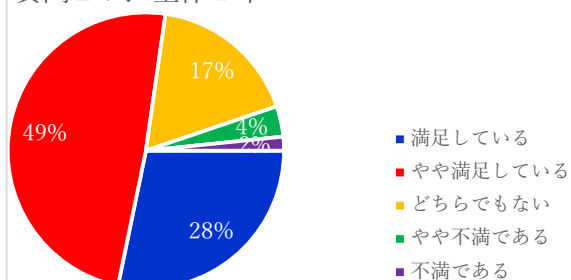
全体



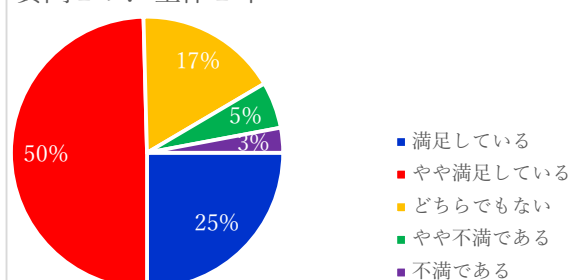
【コメント】

73.4%の学生が「やや・満足している」と回答しており、問題ない。

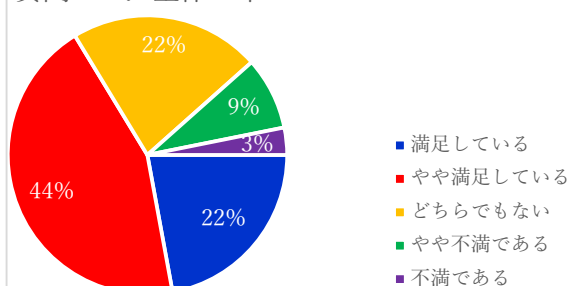
質問 2 9. 全体 1 年



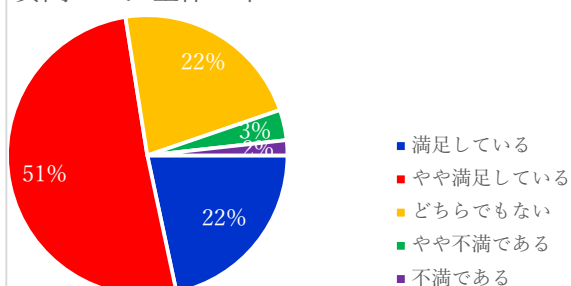
質問 2 9. 全体 2 年



質問 2 9. 全体 3 年



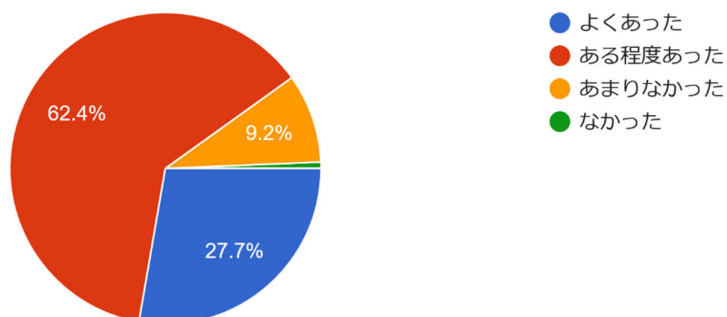
質問 2 9. 全体 4 年



30. 大学に入ってから受けた授業:理解がしやすいように教え方が工夫されていたか

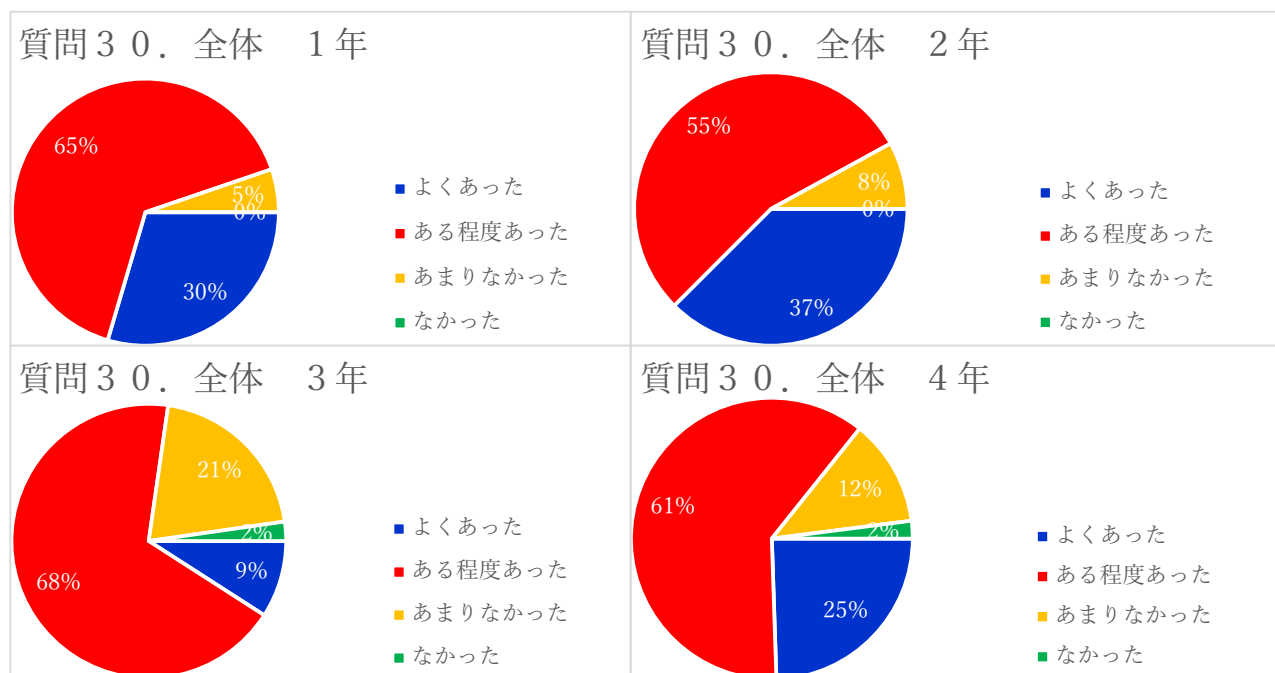
理解がしやすいように教え方が工夫されていた

全体



【コメント】

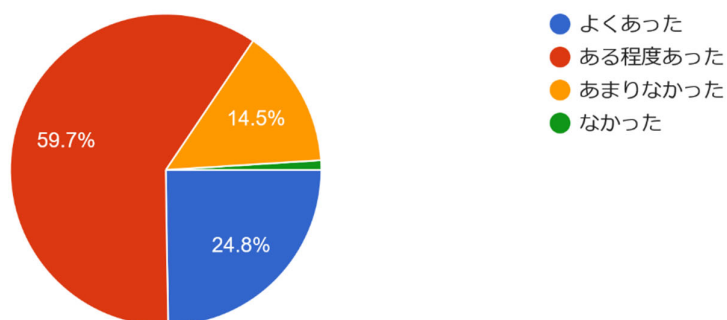
90.1%の学生が「よく・ある程度あった」と回答しており、教員の取組が評価されている。



31. 大学に入ってから受けた授業:予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されていたか

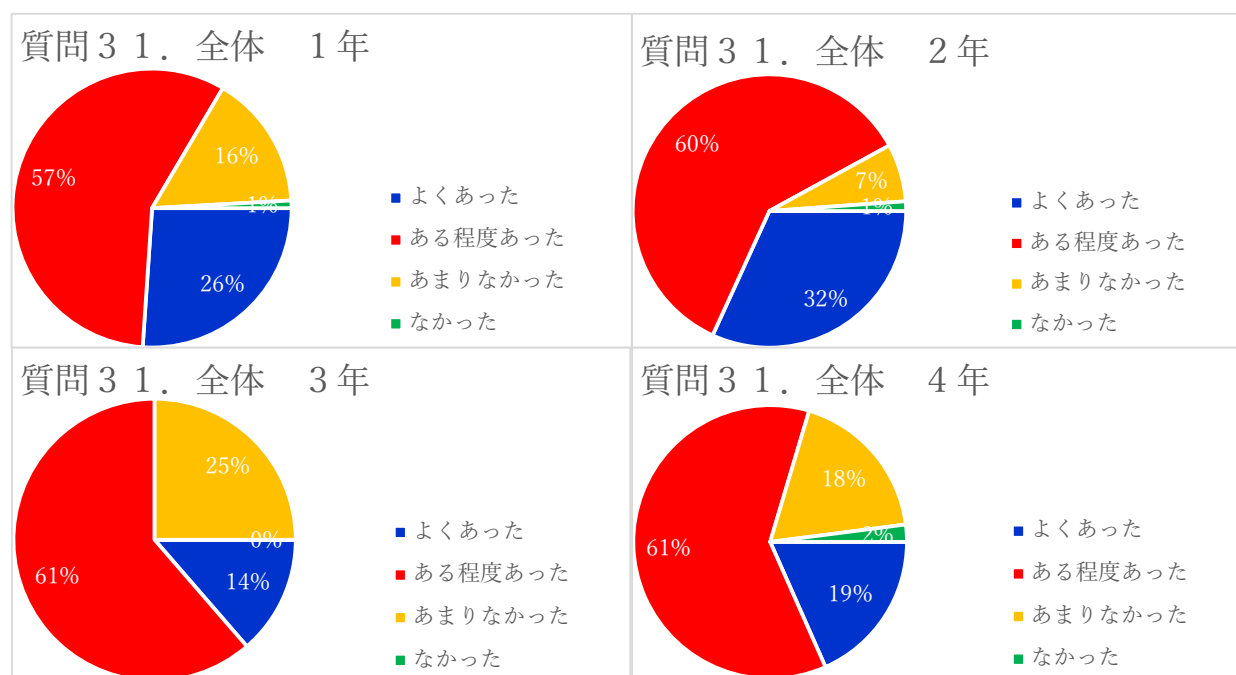
予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される

全体



【コメント】

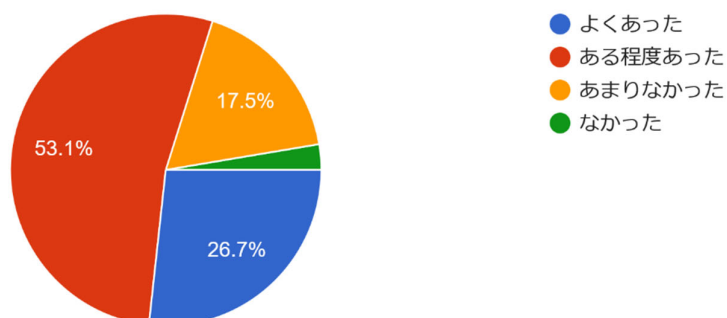
84.5%の学生が「よく・ある程度あった」と回答しており、教員の取組が評価されている。



32. 大学に入ってから受けた授業・課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される

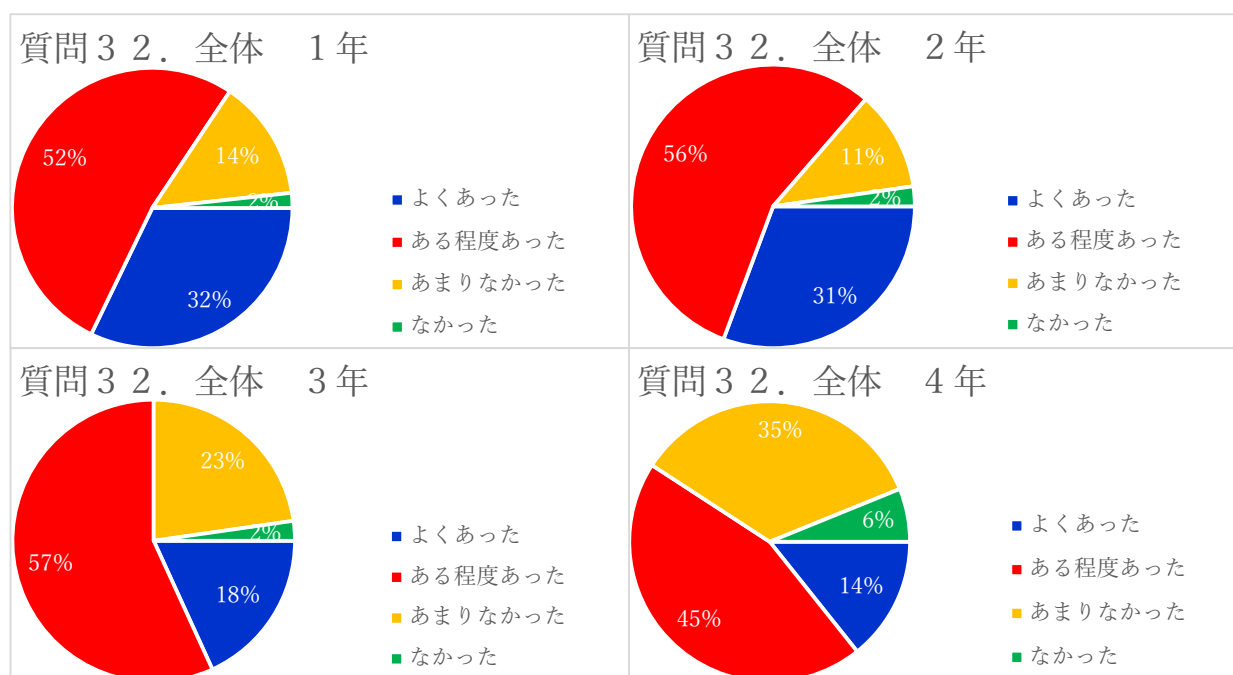
課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される

全体



【コメント】

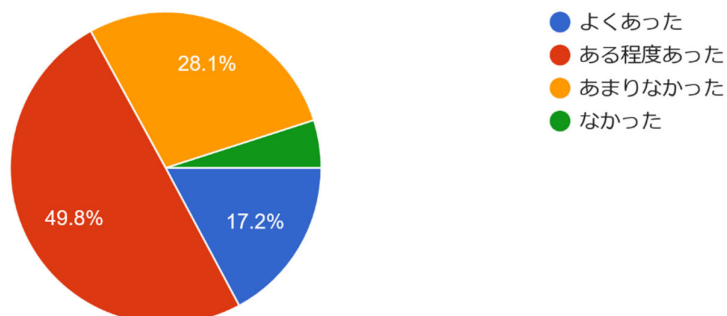
79.8%の学生が「よく・ある程度あった」と回答しており、教員の取組が評価されている。



33. 大学に入ってから受けた授業:グループワークやディスカッションの機会がある

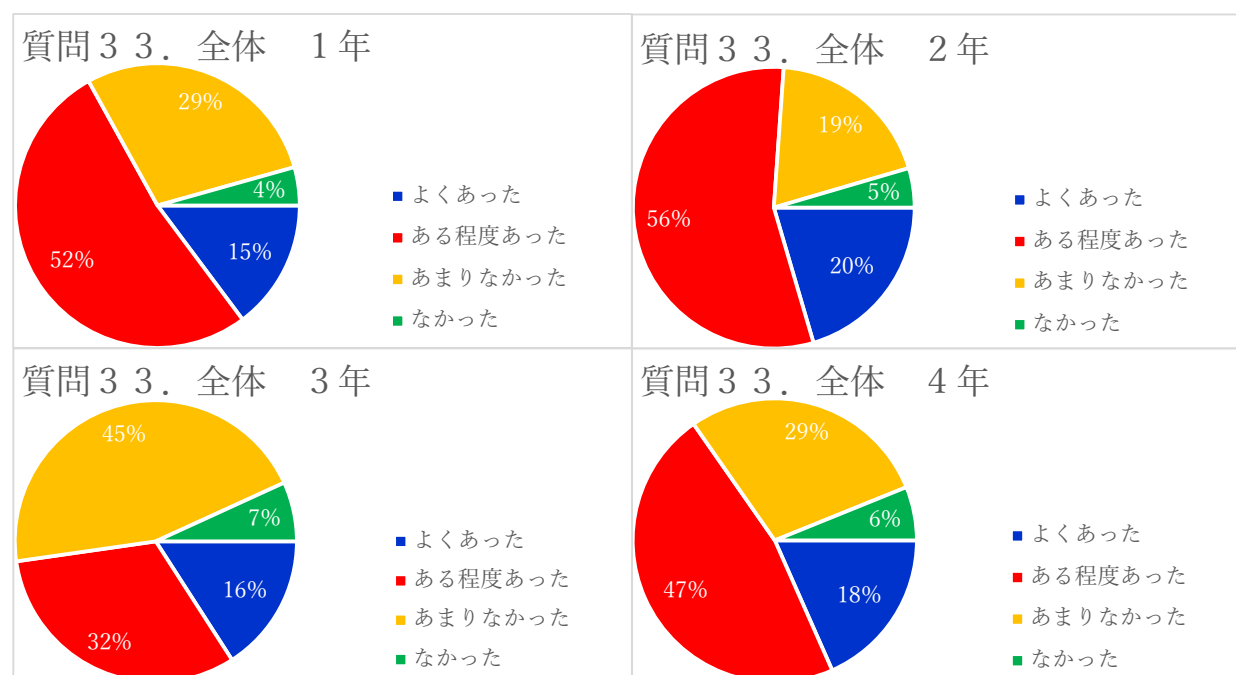
グループワークやディスカッションの機会がある

全体



【コメント】

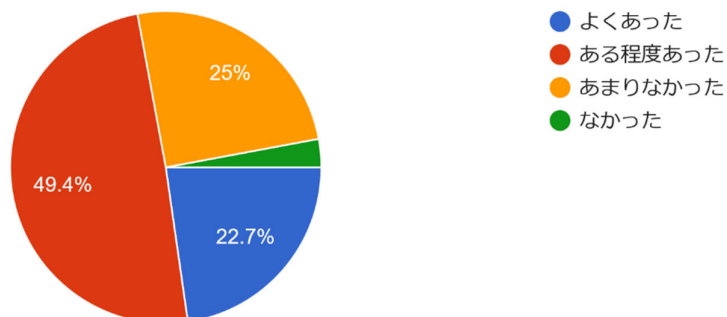
67.0%の学生が「よく・ある程度あった」と回答している。



34. 大学に入ってから受けた授業・質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある

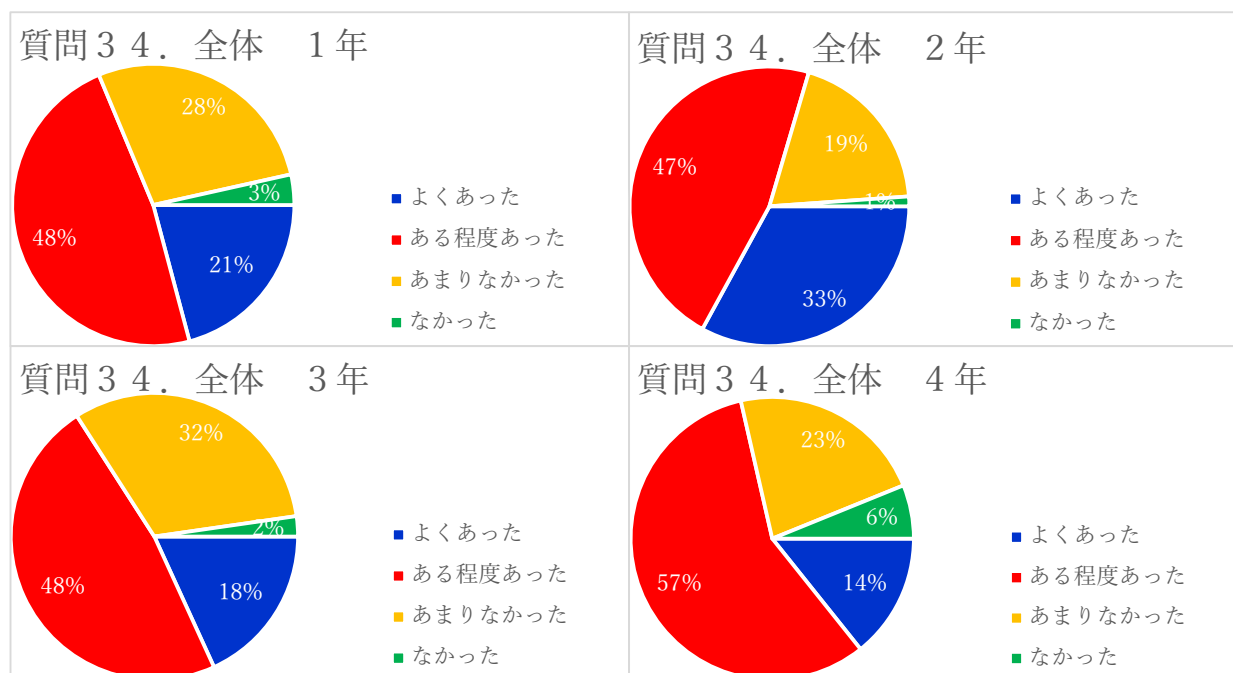
質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある

全体



【コメント】

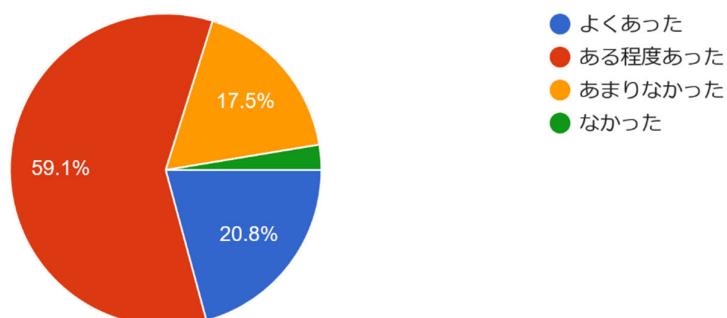
72.1%の学生が「よく・ある程度あった」と回答しており、教員の取組が評価されている。



35. 大学に入ってから受けた授業:ティーチングアシストなどによる補助的な指導がある

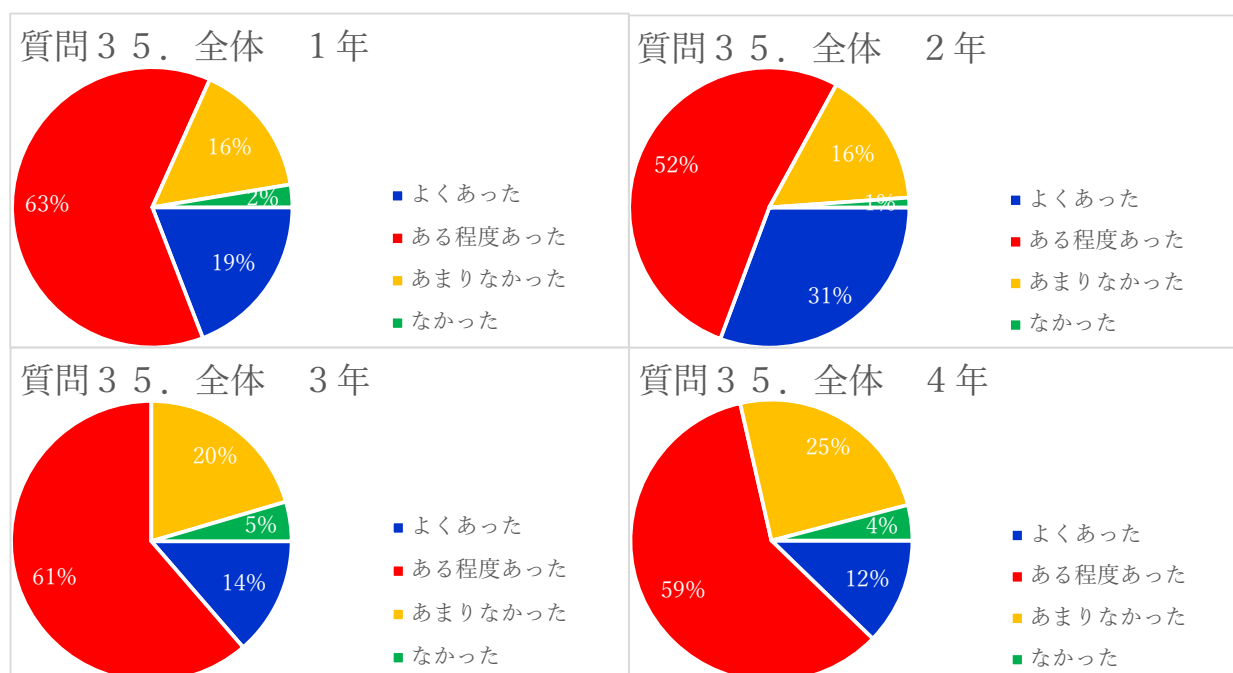
ティーチングアシストなどによる補助的な指導がある

全体



【コメント】

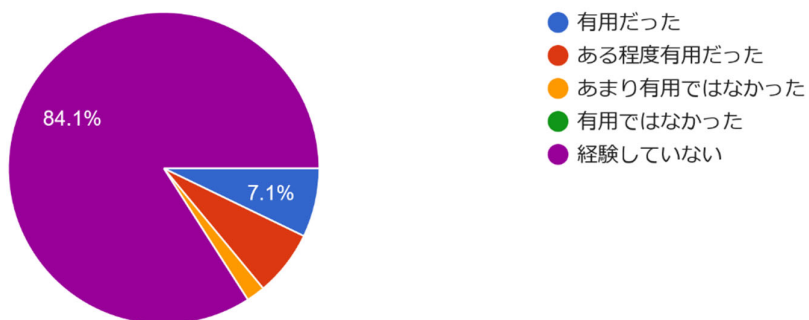
72.1%の学生が「よく・ある程度あった」と回答しており、教員の取組が評価されている。



36. 大学在学中どの程度有用だったと感じますか:インターンシップ(5日間以上)

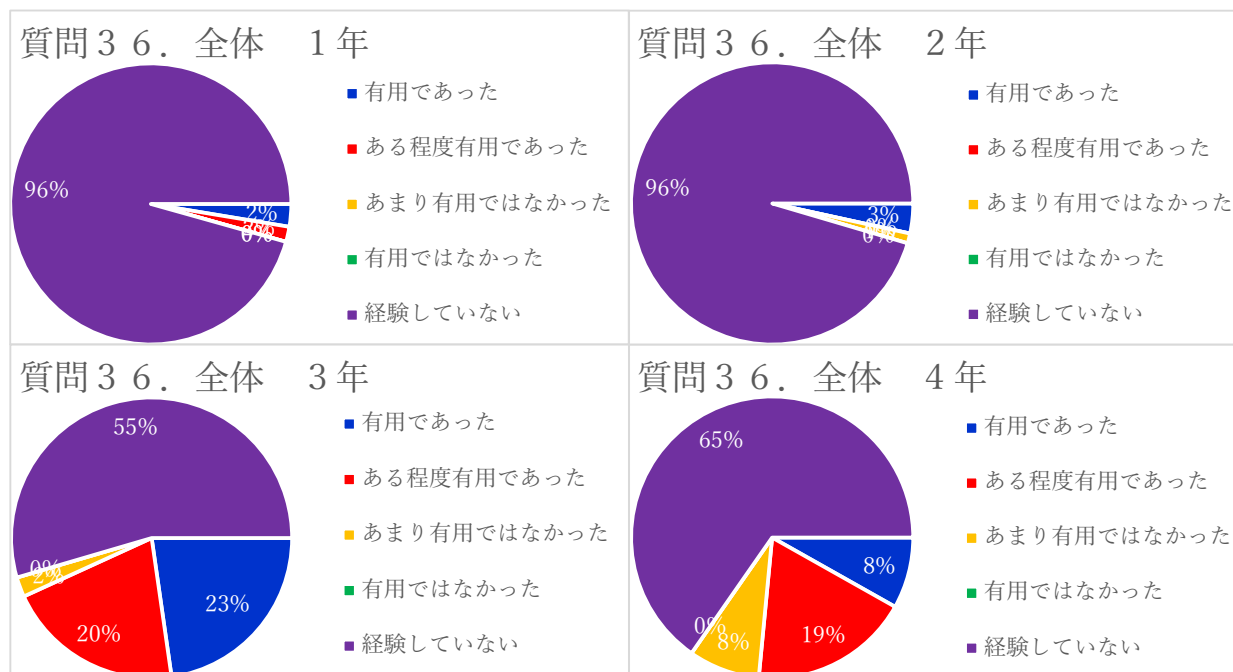
インターンシップ (5日間以上)

全体



【コメント】

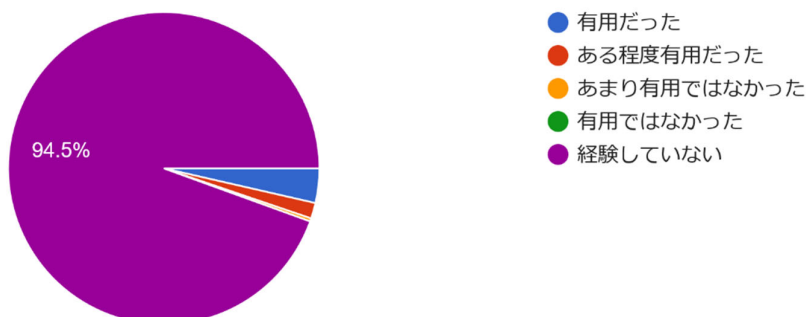
13.9%の学生が「ある程度・有用だった」と回答している。1, 2年生も回答しているため、経験している母数も少ないことが影響している。



37. 大学在学中どの程度有用だったと感じますか:海外留学・海外研修(短期も含む)

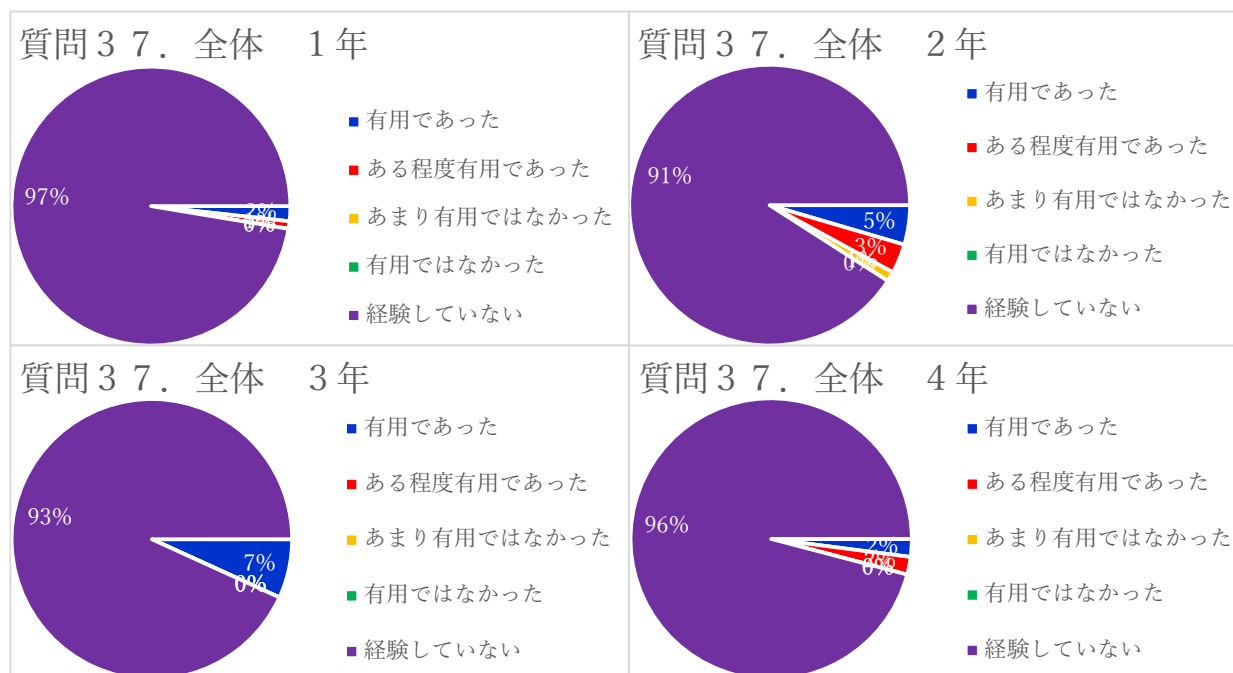
海外留学・海外研修（短期も含む）

全体



【コメント】

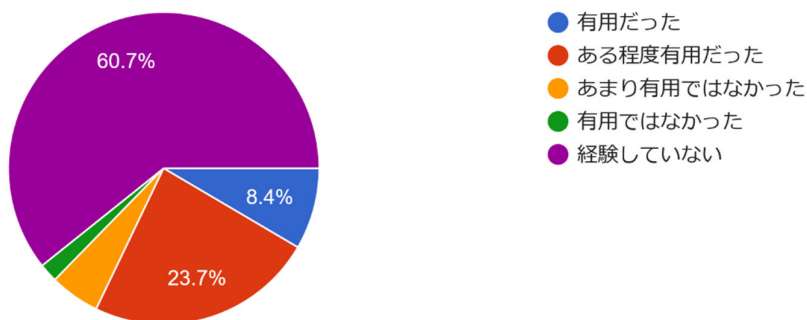
94.5%の学生が「経験していない」と回答している。海外留学・研修の経験者が本アンケートに回答していないことも考えられる。海外留学・研修の経験者からは、ほとんどが有用だったと回答している。海外留学・研修の経験を周知するなど本学プログラム参加者を増やしたい。



38. 大学在学中どの程度有用だったと感じますか:主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

主に英語で行われる授業の履修 (語学科目を除く)

全体



【コメント】

32.1%の学生が「ある程度・有用だった」と回答している。半数以上の学生が経験していないとも回答している。引き続き国際情報プログラムの取組みを活用して、ディプロマ・ポリシー③「国際感覚やモラルなど豊かな人間性」の適切性を高めることに繋げる。

